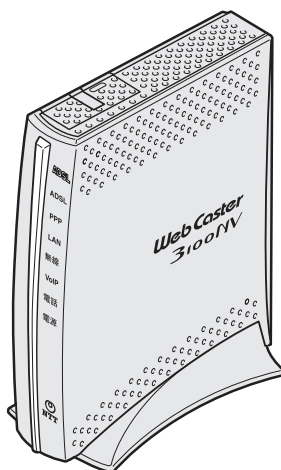


Web Caster 3100NV

取扱説明書

このたびは、Web Caster 3100NVをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みにになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いておいてください。



安全にお使いいただくために必ず お読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたって

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

警告

設置場所

●風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



●水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



●本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラプラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



- ・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

こんなときは

●発煙した場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードをそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



警 告

●水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュージャック、電話配線の内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



●異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落したりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



●電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



●電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



●電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



警告

●電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



●破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



禁止事項

●たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線するとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



●商用電源以外の使用禁止

AC100±10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込みが2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



●本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



●分解改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



警告

●ぬらすことの禁止

本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、電話機コードのモジュラプラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。



●ぬれた手で操作禁止

ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャック、電話配線を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

●異物を入れないための注意

本商品やケーブル、モジュージャック、電話配線の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



●航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



●本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



⚠ 注 意

設置場所

●火気のそばへの設置禁止

本商品、モジュージャック、電話配線、電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



●温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85%以上）では設置および使用はしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



●油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



●本商品を逆さまに置かないでください。



●通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける



注 意

●横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



●温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やモジュージャックの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



禁止事項

●乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



●高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。 社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



電源

●プラグの取り扱い注意

電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災・感電の原因となります。



●電源アダプタ（電源プラグ）の清掃

電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



●長期不在時の注意

長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



注 意

その他のご注意

●移動させるときの注意

移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



●本書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



 お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品は、スタンドを取り付けて設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けます。）
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。



お願い

- 本商品の隙間から虫（ゴキブリなど）が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ただしコネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ADSLに関する注意事項

- 実効速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の通信速度とは異なります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、またはADSL回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 保安器の種類等によっては、加入電話として着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。

 お願い

- 次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
 - ・ ISDN回線などのノイズ源がある場合
 - ・ 配線のルート変更で距離が伸びた場合
 - ・ 加入電話の音声信号にデータを重畳させている場合
 - ・ ADSLスプリッタで分離していても配線状況が悪い場合
- ADSL のサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- 遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR等）の加入電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR等）の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

〔IP電話と加入電話の選択〕

- 本商品に接続した電話機からは、IP電話および加入電話を利用することができます。
- IP電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、本商品のVoIPランプや電話ランプまたは発信時にハンドセットから聞こえる音により識別できます。

〔IP電話の利用〕

- IP電話をご利用いただくためには、プロバイダ等とのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダ等のサーバと通信できる状態にない場合、IP電話は利用できません。

- IP電話はプロバイダ等が提供するサービスです。IP電話のサービス内容や利用料金等を、ご契約されるプロバイダ等に必ずご確認ください。
- IP電話として通話した場合の通話料金はプロバイダ等から請求されます。また、IP電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダ等から付与されたIP電話番号です。
- IP電話として接続できない通話（IP電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合等）は、加入電話としての発信に自動切替されることがあります。自動切替される条件はご契約されたIP電話サービスによって異なりますので、プロバイダ等にご確認ください。
- IP電話の通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
 - ・ADSL回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - ・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
 - ・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルし、加入電話をご利用ください。
- 加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動された場合は、通話が切断されます。

 お願い

- 本商品に接続している電話機のACR等の機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ACR等の機能によって加入電話としての通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。必ず電話機のACR等の機能は停止させてください。

〔加入電話の利用〕

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
- 緊急通話（110番や119番等）等、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話としての発信になります。本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。
※他に113、116、117、177等の1から始まる3桁番号や#で始まる番号。ただし、184、186は除きます。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- 意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルしてください。
- なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。
- 次の場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話として発信します。
 - ・停電時および本商品の電源が切れている場合
 - ・本商品のIP電話の設定がされていない場合
 - ・本商品のIP電話設定がIP電話利用停止状態の場合

無線 LAN に関する注意事項

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジ等の電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況等）により大きく変動します。
- IEEE802.11aの屋外での使用は電波法により禁止されています。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却等）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

電波に関するご注意

(Web Caster FT-STC-Na/g装着時にお読みください)

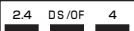
無線LAN機器の電波に関するご注意

本商品をIEEE802.11b、IEEE802.11gで利用時は、2.4GHz帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品をIEEE802.11aで利用時は、5.2GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品（*）は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・ 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・ 異なる階の部屋どうし
- 本商品（*）と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品（*）をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品（*）を5.2GHz帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。
- 本商品（*）は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本商品（*）を分解／改造すること
- 本商品（*）は、他社無線LANカードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品（*）は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

本商品（*）に表示した  は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz帯
DS/OF	変調方式	DS-SSおよびOFDM方式
4	想定干渉距離	40m以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※「本商品（*）」はここでは、Web Caster FT-STC-Na/g装着時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (Web Caster FT-STC-Na/g装着時にお読みください)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
目次.....	19
「機能詳細ガイド」目次.....	21
マニュアルの読み進めかた.....	23
「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されたマニュアルの見かた.....	24

1章 お使いになる前に

1-1 セットを確認してください.....	1-2
1-2 各部の名前.....	1-3
1-3 あらかじめ確認してください.....	1-6
パソコンの準備.....	1-6
対応OSの確認とWebブラウザの準備.....	1-6
1-4 ご利用方法を確認してください.....	1-8
1-5 設置・接続.....	1-9
スタンドを付ける.....	1-9
本商品を設置する.....	1-9
ADSL回線に接続する（加入電話を利用する場合）.....	1-10
ADSL回線に接続する（加入電話を利用しない場合）.....	1-13

2章 インターネットへの接続

2-1 本商品の設定をする.....	2-2
2-2 インターネットに接続する.....	2-4

3章 無線LANのご利用について

3-1 本商品への無線LANカードの取り付け.....	3-2
3-2 Web設定で本商品へ無線LANの設定をする.....	3-4
3-3 無線LANカードの設定.....	3-6
インストール.....	3-6
インストール完了の確認.....	3-8
無線LANアクセスポイントへの無線接続.....	3-13
3-4 Web設定で「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽」の設定をする.....	3-16
3-5 無線LAN設定の詳細について.....	3-17
3-6 まるごと設定ツールで本商品への無線LANの設定をする.....	3-21

4章 IP電話の使いかた

4-1 IP電話の設定について.....	4-2
4-2 電話機能の設定について.....	4-4
4-3 IP電話の使いかた.....	4-9
4-4 加入電話付加サービス等との組み合わせについて.....	4-16

5章 付録

5-1	パソコンのネットワーク設定	5-2
	Windows Vista™をご利用の場合	5-3
	Windows® XPをご利用の場合	5-5
	Windows® 2000をご利用の場合	5-7
	Windows® Me/98をご利用の場合	5-9
	Mac OS Xをご利用の場合	5-11
	Mac OS 9.x/8.xをご利用の場合	5-12
	Webブラウザの設定をする (Windows® 共通)	5-13
	JavaScript®の設定をする (Windows® 共通)	5-14
	JavaScript®の設定をする (Mac OS)	5-16
5-2	故障かな?と思ったら	5-17
	設置に関するトラブル	5-17
	ご利用開始後のトラブル	5-23
5-3	本商品の初期化	5-26
5-4	本商品のバージョンアップ	5-27
	バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	5-27
	当社ホームページよりファイルをダウンロードして バージョンアップする	5-34
5-5	インタフェース	5-36
5-6	用語集	5-37
5-7	索引	5-41
5-8	仕様一覧	5-43
5-9	お客様サポート・保守サービスのご案内	5-46

「機能詳細ガイド」 目次

付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、24ページをご覧ください。

1. 機能詳細説明

機能一覧

- － 電話機能－
 - IP電話
- － ルータ機能－
 - IPマスカレード
 - 静的IPマスカレード
 - 静的NAT
 - 静的ルーティング
 - パケットフィルタリング
 - ステートフルパケットインスペクション
 - DHCPサーバ
 - Proxy DNS
 - 不正アクセス検出
 - アクセスログ
 - UPnP
 - DMZ
 - RIP
- － ADSL側機能－
 - PPPoEブリッジ
 - PPPoEマルチセッション
 - 複数固定IPサービス
 - 無通信監視タイマ
 - シングルユーザアクセスモード
 - VPNパススルー
 - PPPキーバライブ
- － 無線機能－
 - IEEE802.11a無線LAN
 - IEEE802.11b無線LAN
 - IEEE802.11g無線LAN
 - 暗号化
 - MACアドレスフィルタリング機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽
- － その他の機能－
 - 管理者パスワードの変更
 - 時刻設定
 - 情報表示 (装置情報、状態表示)
 - ファームウェア更新

2. 設定例

設定例

- － ブリッジモード－
 - ブリッジモード
 - フレッツ接続ツール紹介

－ フレッツ関連－

フレッツ・スクウェア (NTT東日本/NTT西日本) で利用するには
フレッツ・グループアクセス (NTT東日本)/フレッツ・グループ (NTT西日本)
・ 端末型払い出しで利用するには
・ LAN型払い出しで利用するには
フレッツ・コネクト (NTT東日本) で利用するには
フレッツ・コミュニケーション (NTT西日本) で利用するには

－ その他の設定例－

複数固定IPサービスを利用するには
ネットワークゲームをするには
外部にサーバを公開するには
<パソコンの設定>

- ・ Windows Vista™の場合
- ・ Windows® XPの場合
- ・ Windows® 2000の場合
- ・ Windows® Me/98の場合

・ Mac OSの場合

<本商品の設定>

・ 「Web設定」で設定する
ファイアウォールを設定するには
PPPoEマルチセッション環境でサーバを公開するには

3. Web設定

「Web設定」の使いかた
起動のしかた
トップページ
登録のしかた

－ 基本設定－

接続先の選択設定
ADSLモデム設定
接続先設定

－ 電話設定－

電話基本設定
電話詳細設定
特定番号着信拒否設定

－ 無線LAN設定－

無線LAN設定
MACアドレスフィルタリング

－ 詳細設定－

LAN側設定
DHCP手動設定
パケットフィルタ設定
静的IPマスカレード設定

- 静的NAT設定
- 静的ルーティング設定
- 高度な設定
- －メンテナンス－
 - 管理者パスワードの変更
 - 時刻設定
 - 設定値の保存&復元
 - 設定値の初期化
 - ファームウェア更新
- PINGテスト
- －情報－
 - 現在の状態
 - 通信情報ログ
 - 電話の状態と状態の変更
 - UPnPの状態

4. 無線機能の使いかた

- 無線機能の使いかた
- 無線LANカードの使いかた
- 無線セキュリティ

5. IP電話の使いかた

- IP電話の使いかた
 - 本商品で電話機能をお使いになる場合の注意事項
 - 発信時に聞こえる音とランプの表示について
 - 電話のかけかた
 - 発信者情報(番号)について
 - 電話の受けかた
 - 通話中の着信およびキャッチホンサービスについて
 - ・「Web設定」で設定する
 - －電話設定－
 - 電話基本設定
 - 電話詳細設定
 - 特定番号着信拒否設定
 - －状態－
 - 電話の状態と状態の変更

6. その他(付録)

- その他(付録)
 - 用語集
 - 宅内環境設定確認シート

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

●取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（：HTMLファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

付属品を確認します

『1-1 セットを確認してください』（●本書 1-2ページ）



取り付けます

『1-5 設置・接続』（●本書 1-9ページ）



インターネットにつなぐための設定をします

『2-1 本商品の設定をする』（●本書 2-2ページ）



インターネットにつながります

『2-2 インターネットに接続する』（●本書 2-4ページ）



無線LANの設定をします

『3 無線LANのご利用について』（●本書 3-1ページ）



IP電話を利用するための設定をします

『4-1 IP電話の設定について』（●本書 4-2ページ）



IP電話を利用します

『4-3 IP電話の使いかた』（●本書 4-9ページ）

※本書で説明している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSのバージョンによって異なります。

「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されたマニュアルの見かた

1 「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」をパソコンにセットする

※ Windows[®] をご利用の場合は、「まるごと設定ツール」のインストーラが自動的に起動します。

「機能詳細ガイド」をCD-ROMからご覧になる場合は、「まるごと設定ツール」の[キャンセル] ボタンをクリックしてインストーラを終了します。

※ 「まるごと設定ツール」をインストールすると「機能詳細ガイド」も自動的にインストールされます。その場合は、[スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [すべてのプログラム] (Windows[®] 2000/Me では [プログラム]) - [Web Caster 3100NV まるごと設定ツール] - [機能詳細ガイド] をクリックしてください。

※ 「まるごと設定ツール」をご利用になれるOSは、Windows Vista[™] および Windows[®] XP/2000/Me です。

2 Webブラウザ (Internet Explorer など) を起動して「機能詳細ガイド」や「設定記入シート」のファイルを開く

Windows[®] は、米国 Microsoft[®] Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

※ Windows Vista[™] は、Windows Vista[™] Home Basic、Windows Vista[™] Home Premium、Windows Vista[™] Business および Windows Vista[™] Ultimate の各日本語版かつ32ビット (×86) 版の略です。

Windows[®] XP は、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system および Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating system の略です。

Windows[®] 2000 は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional operating system の略です。

Windows[®] Me は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating system の略です。

Windows[®] 98 は、Microsoft[®] Windows[®] 98 operating system の略です。

Windows[®] 98SE は、Microsoft[®] Windows[®] 98 Second Edition operating system の略です。

本書では、Windows[®] 98 と Windows[®] 98SE を含めて、Windows[®] 98 と表記しています。Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

Netscape[®] は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

JavaScript[®] は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Super AGI は、Atheros Communications, Inc. の商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」は日本語版OS以外の動作保証はしていません。

付属品の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

1

お使いになる前に

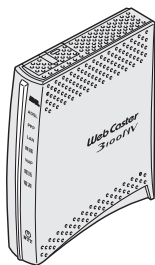
1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

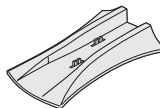
1-1	セットを確認してください.....	1-2
1-2	各部の名前.....	1-3
1-3	あらかじめ確認してください.....	1-6
1-4	ご利用方法を確認してください.....	1-8
1-5	設置・接続.....	1-9

1-1 セットを確認してください

■本体



Web Caster 3100NV (1台)



スタンド (1台)

■付属品



LANケーブル (ストレート1本)



LANケーブル

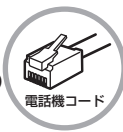


(長さ: 約2m/黒)



(長さ: 約2m/グレー)

電話機コード (2本)



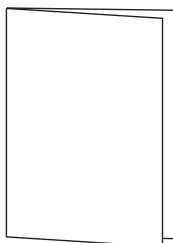
電話機コード



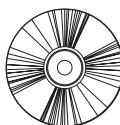
電源アダプタ (1個)



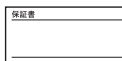
取扱説明書
(本書1冊)



Web Caster 3100NV
まると設定ガイド (1枚)



Web Caster 3100NV
専用CD-ROM (1枚)



保証書 (1枚)
(レンタルの場合は
付属されていません)



NTT通信機器お取扱
相談センタースール
(1枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- アース線は付属していません。
- お使いにならない電話機コードは、引越などで必要になる場合がありますので大切に保管してください。
- ADSLスプリッタセットの場合、以下のものが付属しております。



ADSL スプリッタ (1 個)

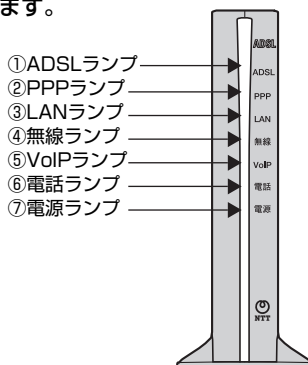


電話機コード
(長さ: 約 20cm/ 白)

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



【ランプ表示】

■前面

ランプの名称		表示 (色)		機能説明
ADSL回線ポート状態表示ランプ	①ADSLランプ	緑	点灯	ADSL回線のリンクが確立しています。
			遅い点滅	ADSL回線の信号検出待ちです。(0.4秒間隔で点滅) (*1)
			速い点滅	ADSL回線のトレーニング中です。(0.2秒間隔で点滅) (*1)
	②PPPランプ	緑	点灯	PPPのリンクが確立しています。(*2)
			遅い点滅	PPPの認証が失敗しました。(1秒間隔で点滅) (*1)
			速い点滅	相手先から応答がありません。(*1)
LAN状態表示ランプ	③LANランプ	緑	点灯	LANポートのリンクが確立しています。
			点滅	LANポートでデータの送受信をしています。
		—	消灯	LANポートのリンクが確立していません。
	④無線ランプ	緑	点灯	無線LANが利用できます。
			点滅	無線LANでデータの送受信をしています。
IP電話状態表示ランプ	⑤VoIPランプ	緑	点灯	IP電話が利用できます。
			点滅	IP電話として通話中です。
		橙	点灯	IP電話は利用停止状態です。
		赤	点灯	IP電話が利用できません。
		—	消灯	IP電話の設定がされていません。(*3)

(次ページに続く)

1

お使いになる前に

ランプの名称		表示（色）		機能説明
加入電話状態表示ランプ	⑥電話ランプ	緑	点灯	加入電話が利用できます。
			点滅	加入電話として通話中です。
		赤	点滅	加入電話回線の極性が反転しています。
		－	消灯	加入電話が利用できません。
電源ランプ	⑦電源ランプ	緑	点灯	電源が入っています。
		－	消灯	電源が切れています。

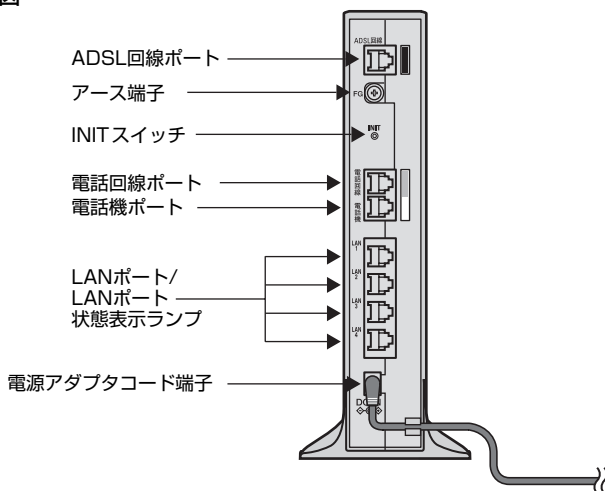
(*1) ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅します。

(*2) 本商品起動時に数秒間緑点灯します。(セルフテスト実行中)

(*3) 本商品にIP電話設定がされていても、電源投入後または再起動後、1度もIP電話が利用可能な状態にならなければ消灯したままです。

※本商品が工場出荷状態（初期化された状態）の場合、電源を入れるとセルフテスト実行により、PPPランプが数秒間緑点灯後、本商品の全ランプが約5秒間緑点灯します。

●背面図



■背面

名称	表示	機能説明
ADSL回線ポート	ADSL回線	電話機コード（付属品/2m/黒）を使用してADSLスプリッタのMODEMポートと接続するためのポートです。（6ピンモジュラージャック）
アース端子	FG	アース線を接続するための端子です。（ネジ径は4.0mm）
電話回線ポート	電話回線	電話機コード（付属品/2m/グレー）を使用してADSLスプリッタのPHONEポートと接続するためのポートです。
電話機ポート	電話機	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。
LANポート	LAN1～LAN4	LANケーブル（付属品など）を使用してパソコンと接続するためのポートです。（100BASE-TX/10BASE-T（8ピンモジュラージャック））
LANポート状態表示ランプ	LAN1～LAN4	緑点灯：LANポートのリンクが確立しています。 消灯：LANポートのリンクが確立していません。
INITスイッチ	INIT	設定を初期化するために使用するスイッチです。
電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

●LANポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LANポート（100BASE-TXまたは10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどにLANポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめ準備ください。LANボードまたはLANカードの取り付けとドライバのインストールは、LANボードまたはLANカードの取扱説明書にしたがって正しく行ってください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトウェアは終了させてください。動作させたまましていると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトウェアをもとに戻してください。

フレッツ接続ツールをご利用になっていた場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。

●無線LANをご利用になるには

本商品とパソコンに装着する無線LANカードとしてWeb Caster FT-STC-Na/gが必要です。

Web Caster FT-STC-Na/gは、下記のOSに対応しています。

Windows Vista™およびWindows® XP/2000/Me

本商品で無線LAN機能を使用される場合には、Web Caster FT-STC-Na/g取扱説明書の「本商品で無線LAN接続する場合」の「LANカードまたはLANボード機能を停止させるには」（➡23ページ）をご覧ください。

対応OSの確認とWebブラウザの準備

本商品は下記のOSに対応しています。

- ・ 本商品のLANポートに接続する場合

Windows Vista™およびWindows® XP/2000/Me/98、Mac OS X/9.x/8.x

- ・ 本商品に専用無線LANカードを装着し、専用無線LANカードから利用する場合（「まるごと設定ツール」を利用する場合も含みます）

Windows Vista™およびWindows® XP/2000/Me

本取扱説明書では、Webブラウザでの設定方法を説明します。
Webブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

●Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。(2007年4月現在)

Windows Vista™の場合

- ・ Internet Explorer 7.0以上に対応

Windows® XP/2000/Me/98の場合

- ・ Internet Explorer 5.5以上に対応

Mac OS X 10.2以上の場合

- ・ Netscape® 7.1以上に対応

Mac OS X 10.1/9.x/8.xの場合

- ・ Netscape® 7.02以上に対応

●WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。(☛ 5-13ページ)

●お使いのWebブラウザの設定でJavaScript® を有効にしてください。
(Windows® の場合☛ 5-14ページ、Mac OS の場合☛ 5-16ページ)

●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの[インターネットオプション]の[接続]で[ダイヤルしない]を選択してください。(☛ 5-13ページ)

●お使いのWebブラウザによっては、Web設定の画面で[閉じる]ボタンをクリックしてもウィンドウが閉じないことがあります。メニューの[ファイル]から[ウィンドウを閉じる]または[閉じる]を選択して閉じてください。

●お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

●Webブラウザの「戻る」、「進む」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。

本商品は、「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して設定する方法と、Webブラウザ（Internet Explorerなど）で設定する方法の2つの方法があります。本商品のご利用方法に合わせて、設定を行ってください。

「まるごと設定ツール」を使用して
設定する場合



パソコンのOSがWindows Vista™および
Windows® XP/2000/Meの場合



「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」を
パソコンにセットし、「まるごと設定ツール」
を起動します。
詳しくは付属の「Web Caster 3100NVま
るごと設定ガイド」をご覧ください。

Webブラウザ（Internet
Explorerなど）で設定する場合



パソコンのOSがWindows Vista™および
Windows® XP/2000/Me/98、Mac OS
X/9.x/8.xの場合

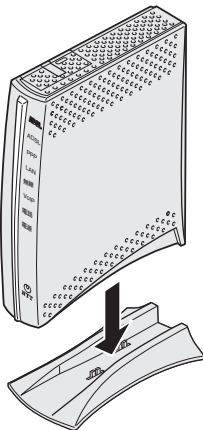


この取扱説明書を読み進んで設定を完了させ
てください。

1-5 設置・接続

スタンドを付ける

図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置ききでご使用ください。

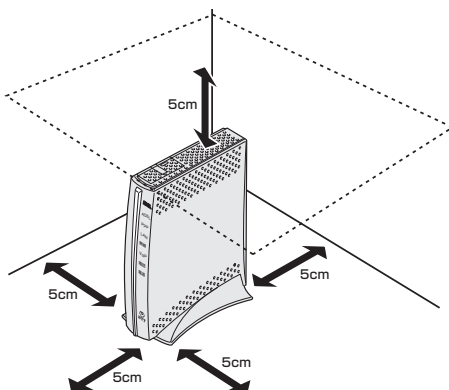


⚠ 注意

本商品は横置ききでの使用はできません。

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



⚠ 注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
ADSL回線が切れたり、十分な速度が出ないことがあります。

1

お使いになる前に

ADSL回線に接続する（加入電話を利用する場合）

1

アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。



警告

アース線は安全のため必ず接続してください。

2

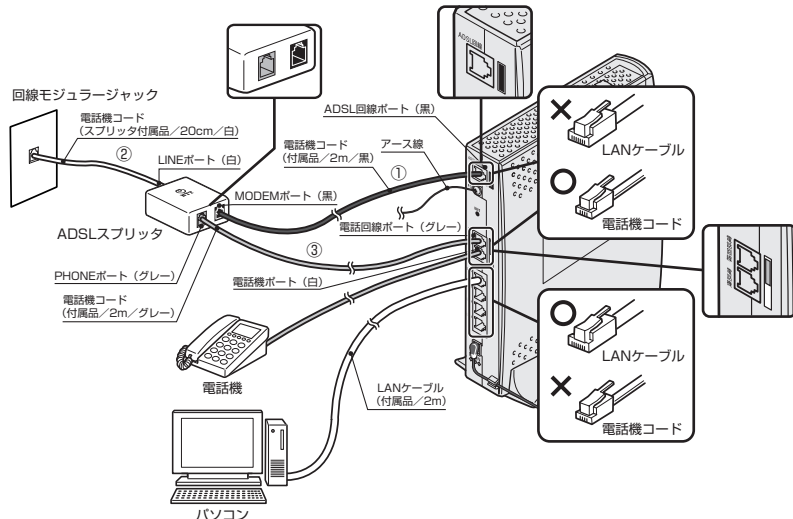
ADSL回線に接続する

本商品のADSL回線ポート、電話回線ポートの横に貼られたシールの色を参照し、接続するコネクタを間違えないようにしてください。

※ スプリッタのコネクタに色がついていない場合があります。

その場合はコネクタの表示をご確認のうえ、接続してください。

- ① ADSLスプリッタのMODEMポート（黒）と本商品のADSL回線ポート（黒）を本商品に付属の電話機コード（黒）で接続します。
- ② ADSLスプリッタのLINEポート（白）とADSL回線のモジュージャックをADSLスプリッタに付属の電話機コード（白）で接続します。
- ③ ADSLスプリッタのPHONEポート（グレー）と本商品の電話回線ポート（グレー）を本商品に付属の電話機コード（グレー）で接続します。

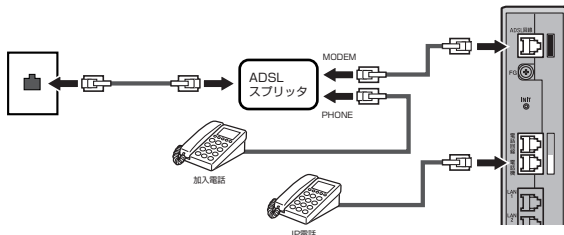


3

電話機を接続する

本商品の電話機ポート（白）に電話機を接続します。

IP電話と加入電話を分けてご使用になる場合



本商品に接続された電話機からは緊急通話（110番や119番等）等はかけられません。

ADSLスプリッタのPHONEポート（グレー）に接続された電話機ではIP電話をご利用できません。

4

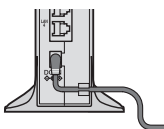
パソコンを接続する

本商品のLANポートにパソコンを接続します。

パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

5

電源アダプタのコードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。

このときは、まだ電源アダプタは壁などの電源コンセントに接続しないでください。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

6

電源アダプタを壁などの電源コンセントに接続する

電源ランプが緑点灯します。

7

電話ランプが緑点灯していることを確認する

8

ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-2 故障かな？と思ったら』（➡ 5-17ページ）をご覧ください。



正常に緑点灯することを確認したら、『2-1 本商品の設定をする』（➡ 2-2ページ）へお進みください。

（次ページに続く）

1

お
使
い
に
な
る
前
に

電話ランプが赤点滅している場合は

加入電話回線の極性が反転しています。電話ランプが赤点滅している状態では電話機によっては着信音が鳴らない場合や、以下のサービスなどが正常に動作しない場合があります。

- ・ナンバー・ディスプレイ（ネーム・ディスプレイ）
- ・Lモード「メッセージ到着お知らせ機能」
- ・ダイヤルイン（モデムダイヤルイン）

（2007年4月現在、NTT東日本、NTT西日本での加入電話付加サービス）
その場合は、本書の『5-2 故障かな？と思ったら』（➡ 5-17ページ）をご覧ください。
うえ、対処してください。



お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ADSL 回線で加入電話を利用するには、ADSL スプリッタが必要です。スプリッタは当社指定のスプリッタを使用してください。スプリッタセットの場合は、付属のADSL スプリッタをご使用ください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。ADSLスプリッタはイラストと形状が異なる場合があります。
- ADSL スプリッタによって表示やコネクタの色が異なる場合があります。その場合はADSLスプリッタに付属された取扱説明書にしたがってください。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「㊤」または「㊦」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- 電話機ポート（白）には、電話機を並列接続しないでください。
- 電話機コード、LAN ケーブルは、接続図にしたがって必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、電源ランプ、LANランプ、ADSLランプ、電話ランプが緑点灯していることを確認してください。
ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-2 故障かな？と思ったら』（➡ 5-17ページ）をご覧ください。
ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分程度で緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～30分ほどかかる場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。

ADSL回線に接続する（加入電話を利用しない場合）

加入電話を利用しない場合は、本商品を直接ADSL回線に接続します。
本商品に接続された電話機からは緊急通話（110番や119番等）等は、かけられません。

1 アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。



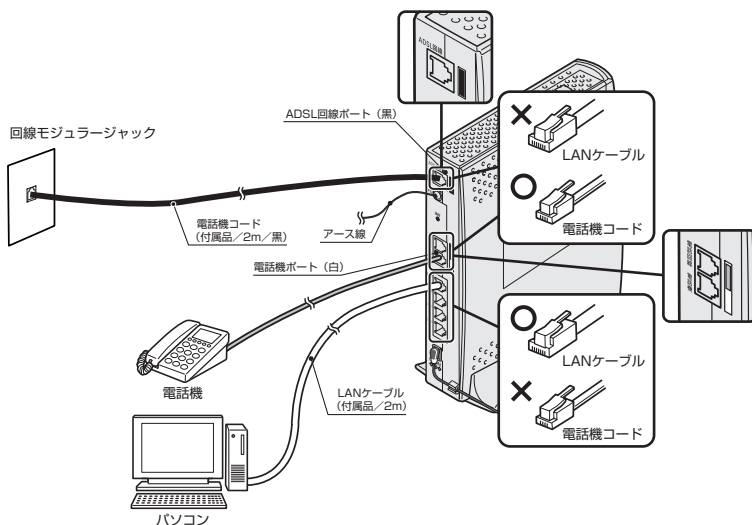
警告

アース線は安全のため必ず接続してください。

2

本商品のADSL回線ポート（黒）とADSL回線のモジュージャックを
本商品に付属の電話機コード（黒）で接続する

本商品のADSL回線ポートの横に貼られたシールの色を参照し、接続するコネクタを
間違えないようにしてください。



3

電話機を接続する

本商品の電話機ポート（白）に電話機を接続します。

4

パソコンを接続する

本商品のLANポートにパソコンを接続します。

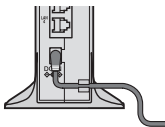
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

（次ページに続く）

1

お
使
い
に
な
る
前
に

5 電源アダプタのコードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このときは、まだ電源アダプタは壁などの電源コンセントに接続しないください。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

6 電源アダプタを壁などの電源コンセントに接続する

電源ランプが緑点灯します。

7 ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-2 故障かな？と思ったら』（☛ 5-17ページ）をご覧ください。

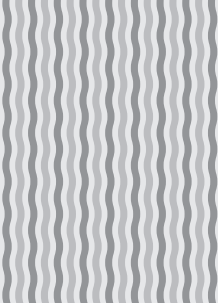


正常に緑点灯することを確認したら、『2-1 本商品の設定をする』（☛ 2-2ページ）へお進みください。



お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「㊤」または「㊦」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などは直接接続できません。
- 電話機ポート（白）には、電話機を並列接続しないでください。
- 電話機コード、LAN ケーブルは、接続図にしたがって必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、電源ランプ、LANランプ、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-2 故障かな？と思ったら』（☛ 5-17ページ）をご覧ください。
ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分ぐらいで緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～30分ほどかかる場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。



2

インターネットへの接続

この章では、インターネットへの接続方法を説明します。

2

- 2-1 本商品の設定をする 2-2
- 2-2 インターネットに接続する..... 2-4

2-1 本商品の設定をする

Webブラウザ（Internet Explorerなど）を使って本商品の基本的な設定をすることができます。

ここで行う設定は、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」内のまると設定ツールを使用して設定することもできます。

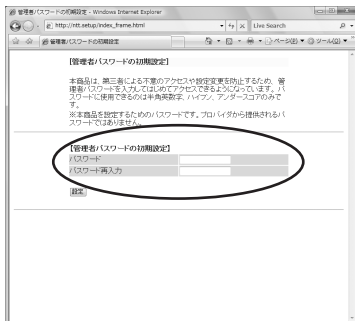
まると設定ツールでの設定のしかたは、本商品に付属の「Web Caster 3100NVまると設定ガイド」をご覧ください。

Webブラウザ（Internet Explorerなど）で設定を行う場合は、あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

設定画面が開けない場合には、『5-1 パソコンのネットワーク設定』（➡ 5-2ページ）をご覧くださいのうえ、パソコンとの接続を確認してください。

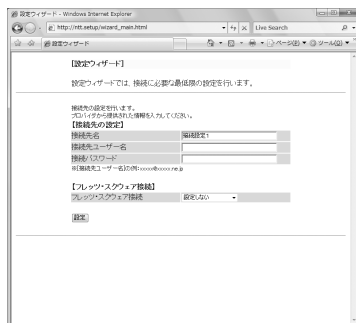
1 Webブラウザを起動し、
「http://ntt.setup/」と入力し、
「Web設定」ページを開く
本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.1.1です）
例：http://192.168.1.1/

2 管理者パスワードの初期設定を行う
画面にしたがって任意の文字列（半角英数字で最大64文字まで）を入力してください。



3 「設定」ボタンをクリックする

4 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザー名、接続パスワードを入力し、フレッツ・スクウェア接続の設定を選択する



接続先ユーザー名：

プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザー名を入力します。

例：xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード：

プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。

※ 接続先ユーザー名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。

フレッツ・スクウェア接続：

フレッツ・スクウェア接続をご利用にならない場合は「設定しない」を、ご利用になる場合は「設定する（東日本）」または「設定する（西日本）」を選択します。

5

【設定】 ボタンをクリックする

以降画面にしたがってWeb ブラウザを終了させてください。

2

インターネットへの接続



お知らせ

- 前ページの手順で設定された接続先ユーザー名、接続パスワードは「接続先1」に設定されます。「接続先1」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
- プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、付属の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 「フレッツ・スクウェア接続」で「設定する（東日本）」または「設定する（西日本）」を選択した場合は、「接続先5」に設定されます。引越などにより設定変更が必要な場合は、「Web設定」－「基本設定」－「接続先設定」で「接続先5」の接続先ユーザー名と接続パスワードを変更してください。
設定方法の詳細については、機能詳細ガイド（HTMLファイル）をご覧ください。
- 前ページからの手順2～5は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web設定」を開く際は、管理者パスワードの入力が必要となります。手順2で設定した管理者パスワードを入力してログインしてください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWeb ブラウザやお使いのOSによって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応OSの確認とWebブラウザの準備」(➡ 1-6ページ)をご覧ください。
- 「Web設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード

管理者パスワードは上記の下線の箇所に記載しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。
(➡ 5-26ページ)

2-2 インターネットに接続する

Webブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

- 1 Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する
本商品のPPPランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。
- 2 インターネット上のホームページを開く



お知らせ

- PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPPランプおよびVoIPランプは緑点灯しません。ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
- 接続モードを要求時接続に設定している場合、無通信時にはPPPランプが消灯していますので、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていればPPPランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoE マルチセッション機能を利用して1回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、付属の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

3

無線LANのご利用について

無線LANをご利用になる場合はこちらをご覧ください。

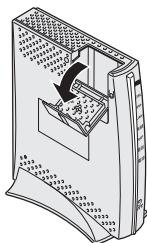
- 3-1 本商品への無線LANカードの取り付け 3-2
- 3-2 Web設定で本商品へ
無線LANの設定をする 3-4
- 3-3 無線LANカードの設定 3-6
- 3-4 Web設定で「無線ネットワーク名
(SSID) の隠蔽」の設定をする 3-16
- 3-5 無線LAN設定の詳細について 3-17
- 3-6 まるごと設定ツールで
本商品への無線LANの設定をする 3-21

3-1 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品の拡張カードスロットに無線LANカード「Web Caster FT-STC-Na/g」を装着することにより、無線LAN機能をご利用になれます。

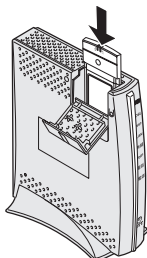
- 装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- 本商品に装着できる無線LANカードは「Web Caster FT-STC-Na/g」のみです。
- パソコンにWeb Caster FT-STC-Na/gを装着して本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないとWeb Caster FT-STC-Na/gが使用できない場合があります。Web Caster FT-STC-Na/g取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANカードを増設する場合、無線LANカードを装着したパソコンは、10台以下でのご使用をお勧めします。

1 本商品の側面の拡張カードスロットカバーを開く



2 無線LANカード (Web Caster FT-STC-Na/g) を拡張カードスロットの奥まで確実に装着する

無線LANカードは図の通りWeb Caster FT-STC-Na/gのACTランプ、PWRランプが見える面を外側に正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線LANカードが破損する場合があります。



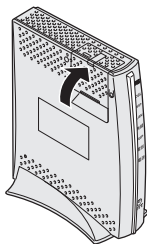
※装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

3 本商品の電源コードを接続する

Web Caster FT-STC-Na/gのACTランプ、PWRランプが緑点滅することを確認してください。本商品前面の無線ランプが緑点灯し、カードが有効となります。

4

拡張カードスロットカバーを閉める



無線LANカードを取り外すときのご注意

本商品から無線LANカード（Web Caster FT-STC-Na/g）を取り外すときは、
本商品の電源を切った状態で取り外してください。

3

無線LANのご利用について

STOP

お願い

●電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

Web 設定で本商品へ無線 LAN の設定をする

本商品のLANポートに接続されたパソコンのWebブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【無線LAN設定】－【無線LAN設定】から、本商品に関する無線LANセキュリティの設定を行います。

ここでは、一時的にWeb Caster FT-STC-Na/gからの「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」を行わない設定にします。

ここでは、「無線の暗号化」を「WPA-PSK (TKIP)」に設定する場合を例に説明します。暗号化を設定することで、無線通信でやりとりするデータを暗号化します。データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

1 「無線ネットワーク名 (SSID)」で本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を確認する

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) は無線LANカードから接続する際に必要になりますので控えておきましょう。

無線ネットワーク名 (SSID)

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) の初期値は、3100NV-XXXXXX (XXXXXX は本商品のMACアドレスの下6桁 (大文字) ※) です。

※本商品のMACアドレスは本商品側面のラベルに記載されています。

2 【無線LANアクセスポイント設定】の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」のチェックを外す

3 【暗号化】の「無線の暗号化」を「WPA-PSK (TKIP)」に設定する

4

【暗号化】の「事前共有キー（PSK）」に8～63桁で半角英数字の任意の文字列を入力する



画面は「事前共有キー（PSK）」として「NTTWBC3100NV」に設定した場合の例です。

5

【設定】 ボタンをクリックする

6

【登録】 ボタンをクリックする

3

無線LANのご利用について

STOP

お願い

- 無線LANセキュリティの設定を変更する場合は、無線LANカードを装着したパソコンの設定も変更してください。変更しないと通信できない場合があります。

3-3 無線LANカードの設定

無線LANカードのセキュリティ設定は、下記の3項目を本商品の無線LANセキュリティと同様にする必要があります。

- ・ 無線ネットワーク名 (SSID)
- ・ 無線の暗号化
- ・ 事前共有キー (PSK)

インストール

Web Caster FT-STC-Na/gをパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、Web Caster FT-STC-Na/gに付属の「Web Caster FT-STC-Na/g専用CD-ROM」(青)をパソコンにセットして行います。Web Caster FT-STC-Na/gに付属の「Web Caster FT-STC-Na/g専用CD-ROM」(青)では、「ドライバ」および「Web Caster FT-STC-Na/gユーティリティ」を同時にインストールします。

Web Caster FT-STC-Na/gを設定するための「Web Caster FT-STC-Na/gユーティリティ」をパソコンにインストールします。

ここでは、Windows Vista™のパソコンにWeb Caster FT-STC-Na/gを接続してご使用になる場合を例に説明しています。

他のOSでは表示される画面が異なる場合がありますが、基本的な手順は同じです。

1 Windows Vista™を起動する

この時点では、Web Caster FT-STC-Na/gをパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。

2 付属の「Web Caster FT-STC-Na/g専用CD-ROM」(青)をCD-ROMドライブにセットする

Windows Vista™の場合

- ※【自動再生】画面が表示された場合は、【プログラムのインストール/実行】に表示されたプログラムをクリックします。
- ※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら【続行】をクリックします。

3 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みのうえ、内容に同意される場合は【次へ】ボタンをクリックし、インストールを行う

4

インストールが完了すると、Web Caster FT-STC-Na/g用のドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPCカードスロットにWeb Caster FT-STC-Na/gを挿入する



インストールが完了し、Web Caster FT-STC-Na/gユーティリティが起動します。

3



お知らせ

- ドライバとは、Web Caster FT-STC-Na/gをパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
- ユーティリティとは、SSIDまたは暗号化等の無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。Web Caster FT-STC-Na/gのユーティリティの名称は、「Web Caster FT-STC-Na/gユーティリティ」です。



お願い

- Windows Vista™およびWindows® XP/2000では、管理者権限を持つユーザー（Administratorなど）でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンすると、正常にインストールできません。
- インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、データ等を保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- インストール時にWeb Caster FT-STC-Na/g以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了させてください。

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

■ Windows Vista™ および Windows® XP/2000の場合

ここでは、Windows Vista™ のパソコンに Web Caster FT-STC-Na/g を接続してご使用になる場合を例に説明しています。

他のOSでは表示される画面が異なる場合がありますが、基本的な手順は同じです。

1

【スタート】（Windows®ロゴボタン） - 【コントロールパネル】 の順にクリックする



Windows® 2000の場合

【スタート】 - 【設定】 - 【コントロールパネル】 の順にクリックします。

2

【システムとメンテナンス】 - 【システム】 の順にクリックする

Windows® XPの場合

【パフォーマンスとメンテナンス】 - 【システム】 の順にクリックし、【ハードウェア】 タブをクリックします。

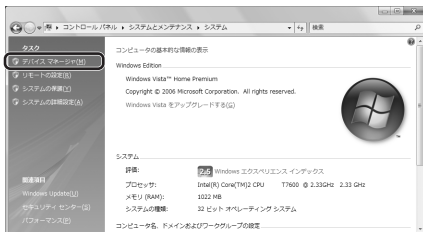
Windows® 2000の場合

【システム】 アイコンをダブルクリックし、【ハードウェア】 タブをクリックします。

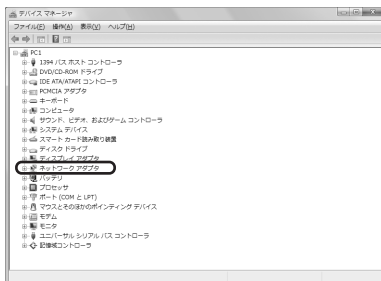
3 「デバイスマネージャ」をクリックする

Windows Vista™の場合

【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら「続行」をクリックします。

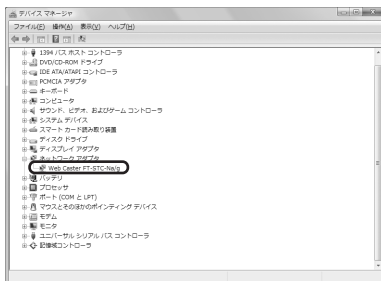


4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする



「Web Caster FT-STC-Na/g」が表示されます。

5 「Web Caster FT-STC-Na/g」をダブルクリックする



(次ページに続く)

3

無線 LAN のご利用について

6

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する



7

[OK] をクリックする

これでインストールの確認は終了です。

■ Windows® Meの場合

1 デスクトップ画面にある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックする
→ショートカットメニューが表示されます。

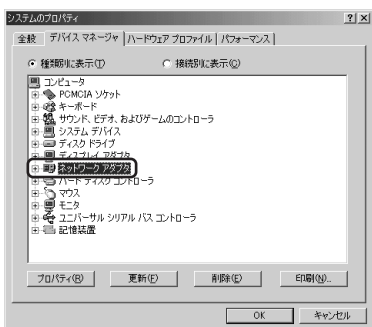
2 [プロパティ] をクリックする



→ [システムのプロパティ] 画面が表示されます。

3 [デバイスマネージャ] タブをクリックする

4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする



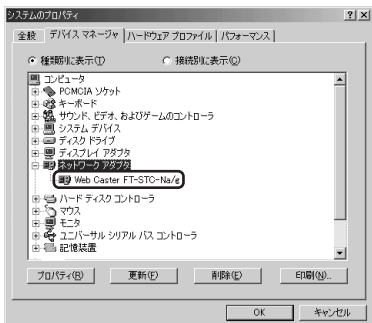
→ 「Web Caster FT-STC-Na/g」が表示されます。

(次ページに続く)

3

無線LANのご利用について

5 「Web Caster FT-STC-Na/g」をダブルクリックする



→【Web Caster FT-STC-Na/gのプロパティ】画面が表示されます。

6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する



→これでインストールの確認は終了です。

7 [OK] をクリックする

(次ページに続く)

無線LANアクセスポイントへの無線接続

Web Caster FT-STC-Na/gから無線LANアクセスポイントを検索して、接続します。
ここでは、Windows Vista™のパソコンにWeb Caster FT-STC-Na/gを接続してご
使用になる場合を例に説明しています。

他のOSでは表示される画面が異なる場合がありますが、基本的な手順は同じです。

1 タスクトレイにあるを右クリックする

→メニューが表示されます。

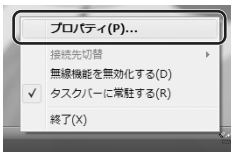


お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] (Windows®のロゴボタン)
- [すべてのプログラム] (Windows® 2000/Meでは [プログラム]) - [Web
Caster FT-STC-Nagユーティリティ] - [FT-STC-Nagユーティリティ] の順
にクリックしてください。

Windows Vista™およびWindows® XP/2000でWeb Caster FT-STC-Na/g
ユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、管理者
権限を持つユーザー (Administratorなど) でログオンしてください。それ以外
のユーザー名でログオンした場合、無線の通信は可能ですが、設定、状態表示を
行うことはできません。

2 [プロパティ] をクリックする



(次ページに続く)

3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする



4 接続したい無線ネットワーク名 (SSID) をクリックして、[設定] ボタンをクリックする

「3-2 Web設定で本商品へ無線LANの設定をする」(➡ 3-4ページ) 手順1で確認した無線ネットワーク名 (SSID) を選択します。

本商品の無線ネットワーク名 (SSID) の初期値は、3100NV-XXXXXX (XXXXXXは本商品のMACアドレスの下6桁 (大文字) ※) です。

※本商品のMACアドレスは本商品側面のラベルに記載されています。

無線LANアクセスポイントで、無線ネットワーク名 (SSID) が隠蔽される設定になっていると、無線ネットワーク名 (SSID) が表示されません。



→ 【ワイヤレスネットワークの設定】画面が表示されます。

5 [通信モード] 欄で「インフラストラクチャ通信」を選択する

6 [無線の暗号化] 欄から「WPA-PSK (TKIP)」を選択する



7 【暗号化キー】欄に、事前共有キー（PSK）を入力する

「3-2 Web設定で本商品へ無線LANの設定をする」で、Web Caster 3100NVに設定した事前共有キー（PSK）を設定します。

8 【登録】ボタンをクリックする

ワイヤレスネットワークの設定

無線ネットワーク名(SSID)(M) 3100NV-XXXXXX

通信モード(P) インフラストラクチャ通信 [詳細設定 >>]

暗号化

無線の暗号化(D) WPA-PSK/TKIP

暗号強度(L) 64bit 入力方法 @ 英数字(8桁) / 16進(10桁)

暗号化キー(K) RTTWBC3100NV

[登録] [キャンセル]

→以上でWeb Caster FT-STC-Na/gへの接続は完了です。



お知らせ

- Web Caster FT-STC-Na/gはIEEE802.11aおよびIEEE802.11g準拠の無線区間を高速化する技術（Super AG）に対応しております。
- Web Caster FT-STC-Na/gは無線LANアクセスポイントのSuper AG設定を自動判別して動作します。なお、使用するパソコンやサーバの環境や能力、周囲の電波環境などにより通信速度が速くならないことがあります。

3-4 Web設定で「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」の設定をする

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【無線LAN設定】－【無線LAN設定】から、本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」の設定を行います。

1 【無線LANアクセスポイント設定】の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」にチェックを入れる



2 【設定】 ボタンをクリックする

3 【登録】 ボタンをクリックする

3-5 無線LAN設定の詳細について

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【無線LAN設定】 - 【無線LAN設定】 から無線に関する設定を行います。



【無線LANアクセスポイント設定】

①無線ネットワーク名 (SSID)

0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) の文字を使い、32文字以内の文字列が使用できます。SSID が一致しない無線LANカードとは、無線LANで通信することはできません。

逆に、SSIDが一致する無線LANカードとは通信が可能になるため、他所にある無線LAN装置が接続できないよう、類推不可能な文字列を使用するようにします。

(初期値: 3100NV-XXXXXX XXXXXXは本商品のMACアドレスの下6桁 (大文字))

②無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽

無線ネットワーク名 (SSID) が不明な無線LAN端末から無線ネットワークの検索を行った場合に応答しないようにする設定です。

チェックすると、無線LAN端末から無線LANアクセスポイントの無線ネットワーク名 (SSID) を検索した場合には検出されなくなり、本商品と同一の無線ネットワーク名 (SSID) を持つ無線LANカードとのみ無線接続できます。

ここのチェックを行わないと、不特定の相手から無線ネットワーク名 (SSID) を検索されて、不正アクセスされる可能性がありますので、ご注意ください。

(初期値: する)

③無線動作モード

使用する無線の通信規格を選択します。
「IEEE802.11g/IEEE802.11b互換」、
「IEEE802.11g固定」、「IEEE802.11a固定」から選択します。

(初期値：IEEE802.11g/IEEE802.11b互換)

無線動作モードの選び方

IEEE802.11g/IEEE802.11b互換：

IEEE802.11bにしか対応していない無線

LANカードとの混在環境での利用に適しています。

IEEE802.11g固定：

IEEE802.11aより広い範囲で高速な通信を行うことができます。

IEEE802.11a固定：

電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。

④使用チャンネル

電波干渉がある場合に使用する無線チャンネル番号を変更してください。

複数のアクセスポイントを設置する場合には、チャンネル番号を変更して使用します。各アクセスポイントが異なるチャンネル番号を使用することにより、ネットワークトラフィックの負荷を軽減することができます。

「IEEE802.11g/IEEE802.11b互換」および
「IEEE802.11g固定」の場合：「1～13」の間で設定
できます。(初期値：7)

※複数の無線LANを狭いエリアで同時使用するとき、無線動作モードが「IEEE802.11g/IEEE802.11b互換」および「IEEE802.11g固定」の場合は、他の無線LANが使用しているチャンネルから3チャンネル以上の間隔をあけて使用することを推奨します。

「IEEE802.11a固定」の場合：「34」「38」「42」
「46」から選択します。(初期値：34)

⑤送信出力

送信出力を調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。

「100%」「50%」「25%」「12.5%」から選択します。
(初期値：100%)

⑥Super AG

Super AG機能を使用するかどうかを指定してください。通常、「使用する（圧縮あり）」を指定すると、実行スループットは向上しますが、圧縮効率の悪いファイルの転送時などは、実行スループットが低下する場合があります。「使用する（圧縮あり）」「使用する（圧縮なし）」「使用しない」から選択します。
(初期値：使用する（圧縮なし）)

⑦MACアドレスフィルタリング機能

無線LANカードのMACアドレスにより接続制限を行うときにチェックをします。ここにチェックをすると本商品は、「MACアドレスフィルタリング機能」で設定してあるMACアドレスを持つ無線LANカードとのみ無線接続するようにできます。(初期値：使用しない)

【暗号化】

⑧無線の暗号化

無線の暗号化を設定します。「なし」「WEP」「WPA-PSK (TKIP)」「WPA-PSK (AES)」から選択します。
(初期値：なし)

※暗号化を行うときは無線LANカードにも同じ暗号化を設定してください。

⑨暗号強度

無線の暗号化で「WEP」を選択した場合は、「64bit」「128bit」「152bit」から選択します。
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。(初期値：64bit)

⑩入力方法

暗号強度で「標準 (64bit)」を選択した場合：

英数字5桁 (0～9、a～z、A～Zで構成される5文字の文字列) か、16進数10桁 (0～9、a～f、A～Fで構成される10文字の文字列) のどちらかを選択します。(初期値：英数字5桁)

暗号強度で「拡張 (128bit)」を選択した場合：

英数字13桁 (0～9、a～z、A～Zで構成される13文字の文字列) か、16進数26桁 (0～9、a～f、A～Fで構成される26文字の文字列) のどちらかを選択します。(初期値：英数字13桁)

暗号強度で「拡張 (152bit)」を選択した場合：

英数字16桁 (0～9、a～z、A～Zで構成される16文字の文字列) か、16進数32桁 (0～9、a～f、A～Fで構成される32文字の文字列) のどちらかを選択します。(初期値：英数字16桁)

⑪使用するWEPキー
(キーインデックス)

「1」～「4」のどのWEPキーを使用するかを設定します。WEPキーは、同じ文字列を使っている無線LANアクセスポイントと無線LANカードの間でのみ互いに通信することができます。WEPキーの文字列は、容易に推測されないような文字列を使う必要があります。また、暗号化を行うときは接続されている無線LANカードに同じWEPキーを設定してください。
(初期値：WEPキー 1)

⑫WEPキー 1～4

WEPキーは4種類登録することができます。指定方法で選んだ文字の桁数分を入力します。文字の種類は、「英数字」を選択した場合は、0～9、a～z、A～Zで構成される文字、「16進数」を選択した場合は、0～9、a～f、A～Fで構成される文字を指定します。WEPキーは、同じ文字列を使っている無線LANアクセスポイントと無線LANカードの間でのみ互いに通信することができます。WEPキーの文字列は、たやすく推測されないような文字列を使う必要があります。また、暗号化を行うときは接続されている無線LANカードに同じWEPキーを設定してください。

⑬事前共有キー (PSK)

無線の暗号化を「WPA-PSK (TKIP)」または「WPA-PSK (AES)」に設定したときの事前共有キー (PSK) を入力してください。
事前共有キー (PSK) には8～63桁の英数記号、または64桁の16進数が指定できます。(初期値：なし)

⑭キー更新間隔 (分)

キー更新間隔 (分) を入力してください。指定できる値は0 (更新なし)、1～1440分です。(初期値：30)

⑮[設定] ボタンをクリックし、[登録] ボタンをクリックしてください。設定内容が保存され、本商品が再起動します。

まるごと設定ツールで本商品への無線LANの設定をする

本商品への無線LANの設定を、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」内のまるごと設定ツールを使用して設定することもできます。

まるごと設定ツールでの設定のしかたは、本商品に付属の「Web Caster 3100NVまるごと設定ガイド」をご覧ください。

4

IP電話の使いかた

IP電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※IP電話をご利用いただくためには、プロバイダ等とのIP電話サービスのご契約が必要です。

4

4-1	IP電話の設定について	4-2
4-2	電話機能の設定について	4-4
4-3	IP電話の使いかた	4-9
4-4	加入電話付加サービス等との 組み合わせについて	4-16

4-1 IP電話の設定について

IP電話をご利用いただくためには、別途プロバイダとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。本商品へのIP電話設定は、プロバイダのホームページ等から自動的に行うことができます。

ただし、プロバイダによっては、別途プロバイダから送付された設定情報を本商品の設定画面から入力していただく必要があります。

※IP電話の設定は、必ずインターネットに接続したあとに設定してください。

IP電話の設定方法は、各プロバイダのIP電話サービスにより異なりますのでご契約のプロバイダのホームページ等で確認のうえ、設定を行ってください。なお、本商品の「対応プロバイダ」が提供するIP電話サービスのホームページへは、下記のURLからアクセスが可能です。

【NTT東日本】 <http://flets.com/ipphone/>

【NTT西日本】 <http://flets-w.com/ipphone/>

本商品の設定画面からIP電話設定を行うようにプロバイダから指示されている場合のみ、本ページおよび次ページの記載にしたがって各項目の設定を行ってください。

※プロバイダのホームページに記載されている指示にしたがってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、本ページおよび次ページのIP電話の設定を行わないでください。その場合は、「電話機能の設定について」(● 4-4ページ)へお進みください。

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの「電話設定」-「電話基本設定」から、IP電話サービスに接続するための設定を行います。

【SIPサーバ設定】

- ①SIPサーバアドレス プロバイダから指定された SIP サーバアドレスを入力してください。(※)
- ②SIPサーバポート番号 プロバイダから指定された SIP サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
- ③REGISTERサーバアドレス プロバイダから指定された REGISTER サーバアドレスを入力してください。(※)
- ④REGISTERサーバポート番号 プロバイダから指定された REGISTER サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
- ⑤IP電話番号 プロバイダから指定された IP 電話番号を入力してください。（例）「05011112222」
ご契約のプロバイダによってはIP電話番号以外が設定される場合があります。プロバイダのホームページ等から自動的に設定された場合は、変更しないでください。
- ⑥SIPドメイン名 プロバイダから指定された SIP ドメイン名を入力してください。(※)

【認証用設定】

- ⑦ユーザー ID プロバイダから指定された IP 電話用のユーザー ID を入力してください。(※)
- ⑧パスワード プロバイダから指定された IP 電話用のパスワードを入力してください。(※)
- ⑨[設定] ボタンをクリックし、[登録] ボタンをクリックしてください。設定内容が保存され、本商品が再起動します。
本商品前面のVoIPランプが緑点灯すれば、IP電話が利用可能となります。

※半角の英数字と記号（スペース除く）で最大64文字までです。

4-2 電話機能の設定について

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、メニューの【電話設定】－【電話詳細設定】から、電話機能に関する設定を行います。



【IP電話設定】

①ナンバーディスプレイ

電話機ポートに接続する電話機のナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は「使用する」にチェックしてください。(初期値：使用しない)

加入電話のナンバー・ディスプレイ契約	本商品のナンバーディスプレイ設定	
	「使用する」	「使用しない」
あり	IP電話としての着信、加入電話としての着信ともに発信者情報(番号)を表示できます。	加入電話としての着信のみ発信者情報(番号)を表示できます。
なし	IP電話としての着信のみ発信者情報(番号)を表示できます。	発信者情報(番号)は表示されません。

②着信音選択

IP電話の着信音 (IR/SIR) を設定します。(初期値：SIR)
 IR：着信音が「1秒あり+2秒なし」を繰り返します。
 加入電話と同じ着信音です。
 SIR：着信音が「0.3秒あり+0.3秒なし+0.3秒あり+2.1秒なし」を繰り返します。

③市外局番

契約されている加入電話の市外局番を入力します。

④エコーキャンセラ

IP電話として通話する場合に、エコーキャンセラを使用するかしないかを設定します。(初期値：使用する)
 通常は「使用する(初期値)」のままでご使用ください。

⑤非通知着信

IP電話として着信する場合に、発信者情報(番号)が非通知の着信を拒否するかしないかを設定します。(初期値：拒否しない)

- ⑥発信者情報 IP電話として発信する場合に、通常ダイヤル時に発信者情報（番号）を通知するかしないかを設定します。（初期値：通知する）
- ⑦加入電話着信割込み音量 IP電話として通話中に、加入電話として着信があった場合の割込み音量を「消音」「小」「中」「大」から選択して設定します。（初期値：中）
- 【加入電話設定】**
- ⑧回線極性 加入電話回線の極性を「自動」「ノーマル」「リバース」から選択して設定します。（初期値：自動）
- ⑨回線ダイヤルモード 加入電話で使用している回線ダイヤル種別を自動認識させるか、手動設定するかを設定します。（初期値：自動）
通常は「自動（初期値）」のままでご使用ください。
- ⑩回線ダイヤル種別 回線ダイヤルモードを「手動」に設定した場合に、加入電話の回線ダイヤル種別（DP 10pps/DP 20pps/PB）を設定します。（初期値：PB）
- ⑪ダイヤル桁間タイマ（秒） ダイヤル桁間タイマとは、電話機からのダイヤルを受付する間隔時間を設定するものです。設定できる値は、4～8秒です。（初期値：4秒）
本装置に接続する電話機、ファクス等が“事業者回線選択番号（0036、0039等）”を自動付与する機能をご利用の場合、本装置のダイヤル桁間タイマの設定値を“5秒以上”に変更して、ご利用ください。
なお、ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に本装置が発信するまでの時間が長くなりますので、ご注意ください。
- ⑫IP電話通話中のメッセージ
有り/ナンバー・ディスプレイ受信 IP電話として通話中に加入電話から通知された加入電話サービスのモデム信号（ナンバー・ディスプレイやネームディスプレイの発信者情報（番号）、キャッチホンⅡ、マジックボックス、Lモードサービスを利用して通知されたメッセージ有り通知等）を一時的に蓄積して、IP電話としての通話中または通話終了後に、メッセージ有りの通知を行うか（有効）、行わないか（無効）を設定します。（初期値：有効）

⑬ナンバー・ディスプレイ 通知方法

IP電話として通話中に加入電話から着信した場合、ナンバー・ディスプレイサービス等によって通知される発信者情報（番号）の通知方法を「通知しない」「通話中通知」「通話後通知」から選択して設定します。「通知しない」を選択すると、発信者情報（番号）は表示されません。「通話中通知」を選択すると、IP電話通話中に発信者情報（番号）を表示できます。「通話後通知」を選択すると、発信者情報（番号）を、IP電話としての通話が終わり、加入電話からの着信が続いている場合に表示できます。IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信を「有効」に設定した場合に設定できます。（初期値：通知しない）

【発信経路設定】

⑭186

相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルする場合の発信経路を「自動」「加入電話」から選択して設定します。「自動」を選択すると、「186」に続けてダイヤルした相手先電話番号により、IP電話として発信するか、加入電話として発信するかを、自動的に選択します。「加入電話」を選択すると、相手先電話番号にかかわらず、必ず加入電話として発信されます。詳しくは、「発信時に聞こえる音とランプの表示について」（● 4-10ページ）をご覧ください。（初期値：自動）

- ⑮[設定] ボタンをクリックし、[登録] ボタンをクリックしてください。設定内容が保存され、本商品が再起動します。
本商品前面のVoIPランプが緑点灯すれば、IP電話が利用可能となります。



お願い

[回線極性について]

- 電話ランプが赤点滅している状態では、電話機によっては着信音が鳴らない場合や、一部の加入電話付加サービスが正常に動作しない場合があります。詳しくは「電話ランプが赤点滅している場合は」(☎ 1-12ページ)をご覧くださいのうえ、「回線極性」を設定変更してください。

[メッセージ有りの通知について]

- IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信を「有効」に設定した場合、本商品に一時的に蓄積できるメッセージ有り通知は1件のみで、最新情報のみが残ります。
- メッセージ有り通知を電話機で表示させるためには、対応する電話機が必要です。(電話機によっては、キャッチホンⅡおよびマジックボックスのメッセージ有到着信が通知されない場合があります。)

[ナンバー・ディスプレイ通知方法について]

- 「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を設定するためには、「IP 電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定している必要があります。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話後通知」に設定してご利用の場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約と、ナンバー・ディスプレイに対応する電話機が必要です。加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約をされていない場合や、ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「通知しない」を設定してください。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話中通知」に設定してご利用の場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。キャッチホン・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。ご利用になる電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していない場合は「通話中通知」を設定しないでください。

[発信経路設定について]

- ダイヤル種別が「DP」に設定されていて、加入電話としてLモードをご利用になる場合、発信経路設定を「自動」に設定しておく、と、接続までの時間が長くなり、つながらない可能性があります。その場合は発信経路設定を「加入電話」に設定することをお勧めいたします。



お知らせ

[ナンバー・ディスプレイについて]

- 加入電話のナンバー・ディスプレイサービスおよびIP電話のナンバーディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- 加入電話でナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- IP電話でナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。
- ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は、「使用する」にチェックしないでください。

[着信音選択について]

- 本商品の電話機ポートに接続した電話機で、着信音を「メロディ」等に設定している場合に、本商品の「着信音選択」を「SIR」に設定すると、正常に着信音が鳴らないことがあります。その場合は、本商品の「着信音選択」を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- IP電話としての着信と加入電話としての着信で、鳴り分けは可能ですが、加入電話の「なりわけサービス」をご契約の場合、本商品の設定によっては、加入電話の着信音とIP電話の着信音が区別できない可能性があります。

[市外局番について]

- 「市外局番」を入力した場合は、市内の加入電話番号へIP電話としてかけるときに市外局番をつけなくてもかけられます。
- 「市外局番」を入力しない場合は、市内の加入電話番号へIP電話としてかけるときに必ず市外局番をつけてかけてください。（市外局番をつけない場合はかけられません）
- 「市外局番」に間違った番号を設定すると、正しい発信ができない場合があります。
- 引越などにより、お客様の市外局番が変更となるときは、設定変更が必要となります。

[回線ダイヤルモード／回線ダイヤル種別について]

- 「回線ダイヤルモード」を「自動」に設定した場合、本商品の起動時に回線ダイヤル種別の自動認識を行います。本商品の電源を入れる前に、ADSLスプリッタ（LINEポート（白））とADSL回線（モジュージャック）、およびADSLスプリッタ（PHONEポート（グレー））と本商品の電話回線ポート（グレー）が正しく接続されていることを確認してください。
- ご使用環境によっては、「回線ダイヤルモード」を「自動」に設定すると、回線ダイヤル種別が正しく認識できず、加入電話として発信できなくなる場合があります。その場合は、「回線ダイヤルモード」を「手動」に設定したあと、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて、「回線ダイヤル種別」を「DP 10pps」、「DP 20pps」、「PB」のいずれかに設定してください。
- 本商品の電話機ポート（白）に接続した電話機の回線ダイヤル種別も、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて設定してください。

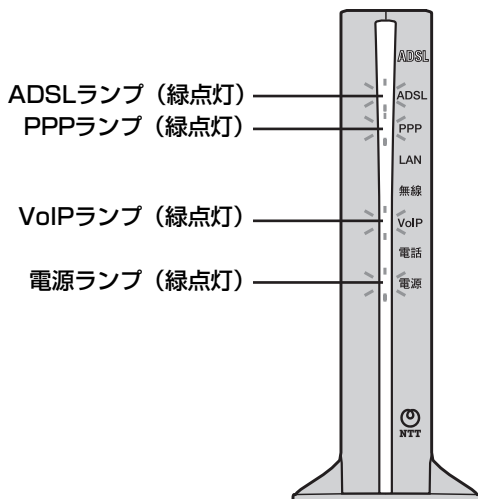
[発信経路設定について]

- 発信経路設定を「自動」に設定している場合でも加入電話としての発信に切り替わる場合があります。（➡ 4-10ページ）
- 「発信経路設定」を「加入電話」に設定している場合、相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、必ず加入電話としての発信となり、加入電話通話料金が発生します。

4-3 IP電話の使いかた

■ランプの確認

インターネット接続の設定および、IP電話の設定が完了したら、本商品のランプ表示が下記のようにになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面のVoIPランプが緑点灯の状態でない場合は、IP電話のご利用はできません。

必ずIP電話サービスを提供するプロバイダからのご案内等をご覧のうえ、サービス契約および設定を行ってください。また、IP電話にてご利用いただける接続先は、契約しているプロバイダのサービス内容によります。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。

4

IP電話の使いかた



お願い

- 「接続先1」以外でIP電話をご利用の場合は、IP電話の接続先の接続モードを「常時接続」に設定してください。
詳しくは、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

■発信時に聞こえる音とランプの表示について

ダイヤルされた番号によりIP電話と加入電話を自動的に選択します。

どちらを選択したかは、ダイヤルしたあとハンドセットから聞こえる音や本商品前面のランプの表示によって識別できます。

通話状態	パターン1	パターン2	パターン3
	IP電話として通話	IP電話では通話不可のため加入電話に切り替えて通話	加入電話として通話
発信時に聞こえる音	プププ、トゥルルル…	プププ、プー トゥルルル…	トゥルルル…
通話中のランプの表示	VoIPランプが緑点滅	電話ランプが緑点滅	
通話料金	IP電話通話料 ご契約のプロバイダから請求されます。	加入電話通話料 NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる発信者情報(番号)	IP電話番号 ご契約のプロバイダから付与された電話番号	加入電話番号	
通話できる相手	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※ IP電話サービスによって、サービス対象（IP電話として通話可能な相手先番号）が異なります。 ※ IP電話ではつながらない番号（サービス対象外の番号）をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※ 停電時や本商品の電源が入っていないときは加入電話としての発信になります。		下記の番号は、常に加入電話として発信します。 ・ 110番、119番等の緊急通話 ・ 0000+相手先電話番号 ・ 117番、177番等のサービス ・ #で始まるダイヤル ※ 184、186は除きます。

※相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルする場合の発信経路を、「Web設定」で「自動」「加入電話」から選択設定することができます。

「自動」を選択すると、「186」に続けてダイヤルした相手先電話番号により、IP電話として発信するか、加入電話として発信するかを、自動的に選択します。「加入電話」を選択すると、相手先電話番号にかかわらず、必ず加入電話として発信されます。

■ 電話のかけかた

IP電話としてかける

- ①本商品前面のVoIPランプが緑点灯していることを確認します。
- ②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ③相手の電話番号をダイヤルします。

例：03 1234 5678

通常通り電話番号をダイヤルすると、IP電話として発信します。

※緊急通話（110番や119番等）等は、必ず加入電話としての発信になります。（前ページの表の『パターン3』をご確認ください）

※IP電話の場合には、必ず呼び出し音の前に「プププ」音が鳴りますので確認してください。IP電話で接続できない相手先の電話番号の場合は、自動的に加入電話としての発信に切り替わる場合があります。その場合は、「プププ」音のあとに「プー」という切替音が聞こえます。（自動切替される条件はIP電話サービスによって異なりますので、ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください）

※IP電話として通話しているときは、本商品前面のVoIPランプが緑点滅となります。

- ④通話が終わったらハンドセットを置きます。

加入電話としてかける

- ①本商品前面の電話ランプが緑点灯していることを確認します。
- ②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ③相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルします。

例：0000 03 1234 5678

※加入電話として通話しているときは、本商品前面の電話ランプが緑点滅となります。

- ④通話が終わったらハンドセットを置きます。



お知らせ

- 緊急通話（110番や119番等）等、加入電話として発信する場合は、本商品に加入回線を接続していないと通話できませんのでご注意ください。（前ページの表の『パターン2』『パターン3』をご確認ください）
- 緊急通話（110番や119番等）をかけたあと、約3分間はIP電話を使用できません。
- 本商品前面のVoIPランプが赤点灯している場合は、なんらかの事情によりIP電話がご利用できません。
その場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることで、加入電話として発信します。
- 本商品前面のVoIPランプが橙点灯（「IP電話利用停止」に設定）または消灯（IP電話未設定）している場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話として発信します。（本商品の電源が切れている場合も同様です）

■発信者情報（番号）の通知について

通知される電話番号

発信のパターン	通知される電話番号
IP電話として発信した場合	IP電話番号（プロバイダから付与された電話番号）
加入電話として発信した場合	加入電話番号（NTT東日本・NTT西日本等から付与された従来の電話番号）

電話番号の通知のされかた

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、IP電話としてかける場合と加入電話としてかける場合でそれぞれ以下のような条件になります。

<IP電話としてかける場合>

●IP電話の発信者情報（番号）通知設定

IP電話の発信者情報（番号）を、通常ダイヤル時に通知するかしないかの設定ができます。初期値は「通知する」となっています。（「電話機能の設定について」（☞ 4-4ページ）をご覧ください）

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

発信者情報（番号） 通知設定	ダイヤル操作		
	相手先電話番号 （通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通知する	○	×	○
通知しない	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

<加入電話としてかける場合>

●加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線ご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「0000」+「184」（通知しない）または「0000」+「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

契約	ダイヤル操作		
	0000+相手先電話番号 （通常の操作）	0000+184+ 相手先電話番号	0000+186+ 相手先電話番号
通常通知 （通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知 （回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



お知らせ

- 「発信経路設定」を「加入電話」に設定している場合、相手先電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、必ず加入電話としての発信となり、加入電話としてかける場合の条件と同じになります。
- IP電話では通話不可のため加入電話に切り替えて通話する場合（➡ 4-10ページの表の『パターン2』）は、加入電話としてかける場合の条件と同じになります。

■ 電話の受けかた

電話を受ける

- ①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。
- ※IP電話として通話している場合は、前面のVoIPランプが緑点滅します。
- ※加入電話として通話している場合は、前面の電話ランプが緑点滅します。
- ②通話が終わったらハンドセットを置きます。

■ 通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

着信のパターン		着信者側	発信者側
IP電話として通話中に	IP電話として着信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話として着信があった場合(注1)	割り込み音が鳴ります。ハンドセットを置くこと(オンフック)により、通話中の通話を切断し、加入電話の着信に応答することができます。(注2)	呼び出し音が鳴ります。
加入電話として通話中に	IP電話として着信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話として着信があった場合	加入電話にキャッチホンのご契約がある場合は、通常のキャッチホンの動作をします。 加入電話にキャッチホンのご契約がない場合は、通話中の通話を継続します。	呼び出し音が鳴ります。 お話し中音が鳴ります。

(注1) 本商品に接続した電話機から、本商品に接続した加入電話の電話番号に発信した場合、通話はできませんが、通話料金が発生する場合がありますのでご注意ください。

(注2) 「Web設定」で割り込み音量の選択設定ができます。

割り込み音量を「消音」「小」「中」「大」から選択して調整できます。

工場出荷状態では、割り込み音量は「中」に設定されています。

設定方法の詳細については、本書の「電話機能の設定について」(➡ 4-4ページ)をご覧ください。

**お知らせ**

- 加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP 電話として通話中に加入電話から着信した場合、ナンバー・ディスプレイサービス等によって通知される発信者情報（番号）の通知方法を「通知しない」「通話中通知」「通話後通知」から選択して設定します。「通知しない」を選択すると、発信者情報（番号）は表示されません。「通話中通知」を選択すると、IP電話通話中に発信者情報（番号）を表示できます。「通話後通知」を選択すると、発信者情報（番号）を、IP電話としての通話が終わり、加入電話からの着信が続いている場合に表示できます。（初期値：通知しない）
- 「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を設定するためには、「IP 電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定している必要があります。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話後通知」に設定してご利用の場合は、加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約と、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。加入電話のナンバー・ディスプレイサービスのご契約をされていない場合や、ご利用になる電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「通知しない」を設定してください。
- ナンバー・ディスプレイ通知方法を「通話中通知」に設定してご利用の場合は、キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。キャッチホン・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。ご利用になる電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していない場合は「通話中通知」を設定しないでください。

加入電話付加サービス等との組み合わせについて

下記の「加入電話付加サービス等対応状況表」をご確認ください。「加入電話付加サービス等対応状況表」は、本商品に接続された加入電話回線から当該付加サービスを利用できるかどうかについて記載しています。

ただし、IP電話としての通話は、加入電話付加サービスの対象外となります。また、IP電話利用中（発着/通話中）は、加入電話付加サービスが動作しない場合もありますのでご注意ください。

なお、IP電話サービスとしての対応状況については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

■加入電話付加サービス等対応状況表

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■着信者として下記サービスをご利用になる場合		
ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	○	- IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」または「通話後通知」に設定すれば可能です。 - 加入電話回線のキャッチホン・ディスプレイは可能です。IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」に設定すれば可能です。 - IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」または「通話後通知」に設定すれば可能です。
ナンバー・リクエスト 二重番号サービス でんわばん	●	IP電話への着信時は動作しません。
ナンバー・アナウンス ナンバーお知らせ136	●	IP電話への着信履歴はお知らせされません。
迷惑電話おことわりサービス	●	IP電話への着信は拒否できません。
なりわけサービス	△	IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。
キャッチホン	●	加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。

（次ページに続く）

4-4 加入電話付加サービス等との組み合わせについて

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりで利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
キャッチホンⅡ マジックボックス（キャッチホン機能）	△	- IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中のメッセージ有りの通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定すれば可能です。 - センタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取りあげるたびに「ブー」の前に送出される「ブプッ、ブプッ、」という音は鳴りません。
ボイスワープ ボイスワープセレクト マジックボックス（転送機能）	△	- 加入電話への着信時のみ動作します。 - 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。 - 応答後転送を利用する場合、通話中にフッキングしても転送できないことがあります。 - 話中時転送は、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
転送でんわ	△	- 加入電話への着信時のみ動作します。 - 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。
モデムダイヤルイン	○	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、着番号情報の通知は、「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話後通知」に設定すれば可能です。
PBダイヤルイン	×	PBダイヤルインによる着番号情報の通知が正常に動作しません。

（次ページに続く）

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりで利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■発信者として下記サービスをご利用になる場合		
トリオホン	●	- 加入電話通話中に第2発信することができます。（第2発信は「0000」（ゼロ4回）をダイヤルしなくとも発信することができます。） - IP電話利用中に第2発信することはできません。
空いたらお知らせ159	●	相手先が IP 電話通話中だった場合はご利用できません。
ボイスボックス でんわ会議 短縮ダイヤル	○	センタへ発信するときは「0000」（ゼロ 4 回）を付与してダイヤルしてください。
#ダイヤル	○	加入電話回線を自動的に選択し発信します。
フリーアクセス ナビアクセス APナビ ダイヤルQ2	○	ご契約の IP 電話サービスが左記のサービスを対象外としている場合は、加入電話発信に自動切替されます。
オフトーク通信サービス	○	宅内装置を IP 電話対応機器と単体電話機の間に接続した場合は動作しませんが、スプリッタとIP電話対応機器の間に接続した場合は動作します。
Lモード	△	- IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中のメッセージ有りの通知は「IP電話通話中のメッセージ有り/ナンバー・ディスプレイ受信」を「有効」に設定すれば可能です。 - センタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取りあげるたびに「ブー」の前に送出される「ブブッ、ブブッ」という音は鳴りません。 - 回線ダイヤル種別が「DP」に設定されていて、加入電話としてLモードをご利用になる場合、発信経路設定を「自動」に設定しておく、接続までの時間が長くなり、つながらない可能性があります。その場合は発信経路設定を「加入電話」に設定することをお勧めいたします。

（2007年4月現在の情報です。）



お知らせ

- 無鳴動着信サービスには対応しておりません。
- 電話ランプが赤点滅している場合には、これらのサービスが正常に動作しない場合があります。
- 加入電話付加サービスを複数契約している場合、「ナンバー・ディスプレイ通知方法」を「通話中通知」に設定していても、「通話後通知」となる場合があります。

5

付録

5-1	パソコンのネットワーク設定.....	5-2
5-2	故障かな?と思ったら	5-17
5-3	本商品の初期化.....	5-26
5-4	本商品のバージョンアップ.....	5-27
5-5	インタフェース.....	5-36
5-6	用語集	5-37
5-7	索引	5-41
5-8	仕様一覧	5-43
5-9	お客様サポート・保守サービスの ご案内	5-46

5-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCPサーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCPサーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

- ・ Windows Vista™をご利用の場合
→ 5-3ページをご覧ください。
- ・ Windows® XPをご利用の場合
→ 5-5ページをご覧ください。
- ・ Windows® 2000をご利用の場合
→ 5-7ページをご覧ください。
- ・ Windows® Me/98をご利用の場合
→ 5-9ページをご覧ください。
- ・ Mac OS Xをご利用の場合
→ 5-11ページをご覧ください。
- ・ Mac OS 9.x/8.xをご利用の場合
→ 5-12ページをご覧ください。

パソコンに設定されているIPアドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。

本商品のIPアドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IPアドレスを変更する場合は、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)の「Web設定」の「詳細設定」－「LAN側設定」をご覧ください。

■Webブラウザの設定 (Windows®のみ)

Webブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

- ・ Windows®をご利用の場合
→ 5-13ページをご覧ください。

■JavaScript®の設定確認

Webブラウザで設定を行うには、JavaScript®の設定を有効にする必要があります。

- ・ Windows®をご利用の場合
→ 5-14ページをご覧ください。
- ・ Mac OSをご利用の場合
→ 5-16ページをご覧ください。

Windows Vista™をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

Windows Vista™の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

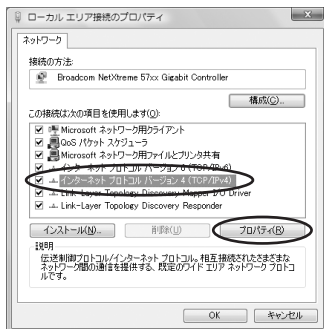
2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックする

3 [タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする

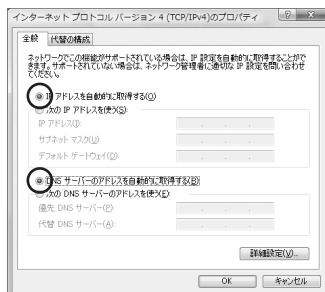
4 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

●本書では、Windows Vista™の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

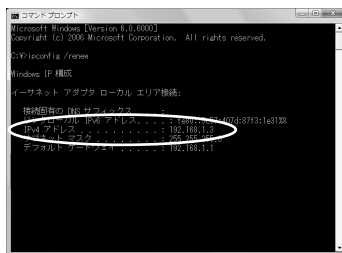
■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの【スタート】(Windows®のロゴボタン) – 【すべてのプログラム】 – 【アクセサリ】 – 【コマンドプロンプト】を実行する

3 【コマンドプロンプト】の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、【Enter】キーを押す

4 【イーサネット アダプタ ローカル エリア接続 :】が表示され、IPv4アドレスが【192.168.1.xxx】になっていることを確認する (xxxは2～254の数字です)



5 「exit」と入力し、【Enter】キーを押す

Windows[®] XPをご利用の場合

■ パソコンのネットワークの設定をする

Windows[®] XPの設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] – [コントロールパネル] を選択する

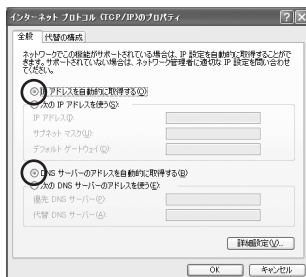
2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

- 本書では、Windows[®] XPの通常表示モード(カテゴリー表示)を前提に記載しています。

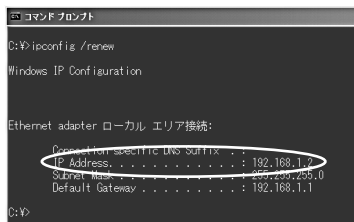
■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの [スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を実行する

3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter] キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続：] が表示され、IPアドレス (IP Address) が [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (x は 2 ~ 254の数字です)



```
コマンド プロンプト
C:\>ipconfig /renew
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    . . . . .
    IP Address. . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
    . . . . .
C:\>
```

5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

Windows[®] 2000をご利用の場合

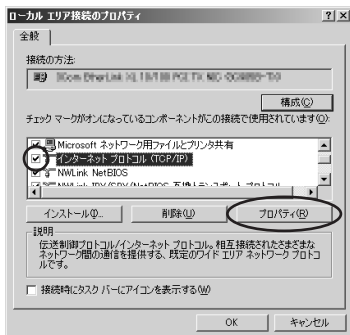
■パソコンのネットワークの設定をする

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

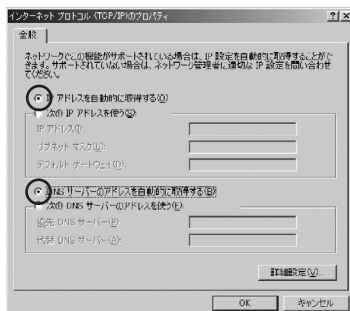
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

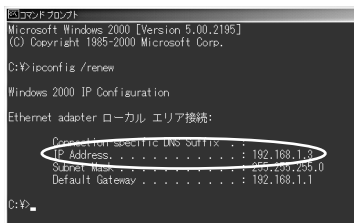
■ IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの [スタート] – [プログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を実行する

3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter] キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続:] が表示され、IPアドレス (IP Address) が [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (x は 2 ~ 254の数字です)



```
命令プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS suffix . . . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.1.3
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

C:\>
```

5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

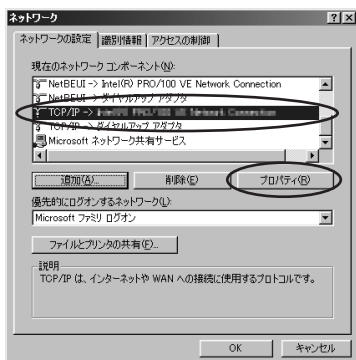
Windows[®] Me/98をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

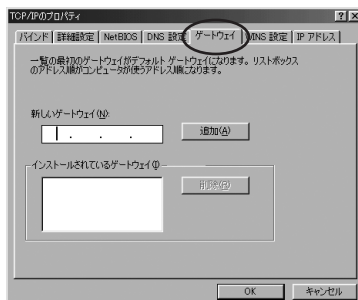
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



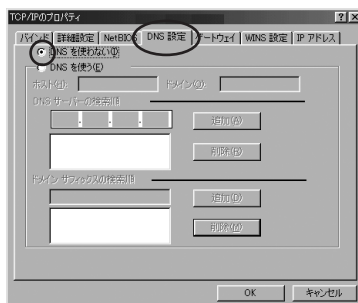
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

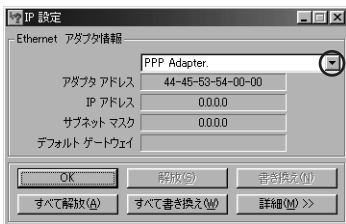
■IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンを再起動してから確認してください。

1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの【スタート】から【ファイル名を指定して実行】をクリックし、「winipcfg」と入力後、【OK】をクリックする

3 下の画面が表示されたら、▼をクリックし、お使いのLANカード／ボードを選択する



4 IPアドレスが【192.168.1.xxx】となっていることを確認する (xは2～254の数字です)



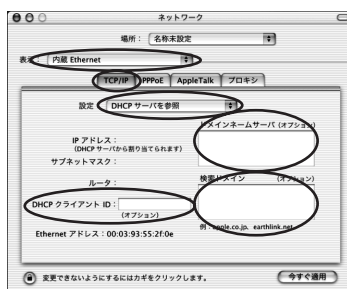
5 【OK】をクリックする

Mac OS Xをご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択する
- 2 [TCP/IP] タブをクリックして、[表示]を[内蔵Ethernet]にし、[設定]を[DHCPサーバを参照]にする

- 3 [DHCPクライアントID]と[ドメインネームサーバ]、[検索ドメイン]を空白にする



- 4 [今すぐ適用]をクリックし、ウィンドウを閉じる
- 以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択する

- 3 [TCP/IP] タブをクリックして、IPアドレスが[192.168.1.xxx]になっていることを確認する(xは2~254の数字です)



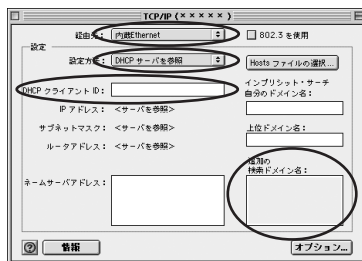
- 4 ウィンドウを閉じる

Mac OS 9.x/8.xをご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く
- 2 [経路先] を [内蔵Ethernet] にする

- 3 [設定方法] を [DHCPサーバを参照] にし、[DHCPクライアントID] と [追加の検索ドメイン名] を空白にし、ウィンドウを閉じる

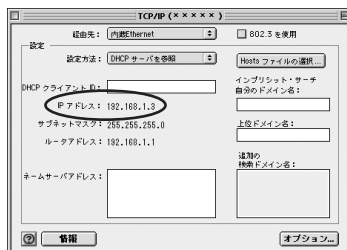


- 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから [コントロールパネル] – [TCP/IP] を選択する

- 3 IPの設定画面が表示されたら、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (xは2～254の数字です)



- 4 ウィンドウを閉じる

Webブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Webブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下は、Windows Vista™でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。

- 1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

Windows® 2000/Me/98 の場合

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® XPの場合

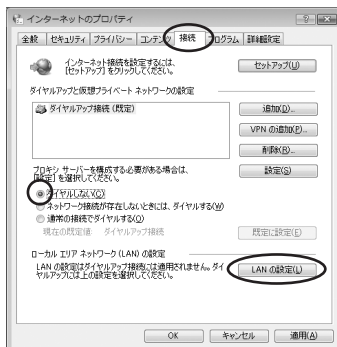
[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

Windows® 2000/Me/98 の場合

[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックします。

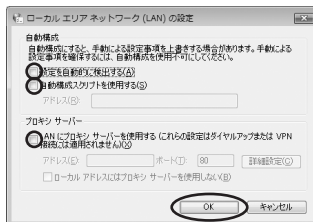
- 3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する

- 4 [LANの設定] をクリックする



- 5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外し、[OK] をクリックする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- 6 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript®の設定をする (Windows®共通)

Webブラウザで設定を行うにはJavaScript®の設定を有効にする必要があります。

※ Webブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScript®を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows Vista™でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。

- 1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する

Windows® 2000/Me/98の場合

[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] を選択します。

- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® XPの場合

[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

Windows® 2000/Me/98の場合

[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックします。

- 3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

- 4 [サイト] をクリックする

- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



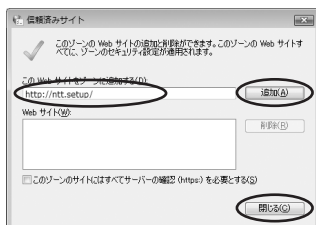
6

【次のWebサイトをゾーンに追加する】に「http://ntt.setup/」を入力して【追加】をクリックし、【閉じる】をクリックする

Windows® XP/2000/Me/98の場合

【次のWebサイトをゾーンに追加する】に「http://ntt.setup/」を入力して【追加】をクリックし、【OK】をクリックします。

※ IPアドレス（工場出荷時は192.168.1.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。（例：「192.168.1.1」）

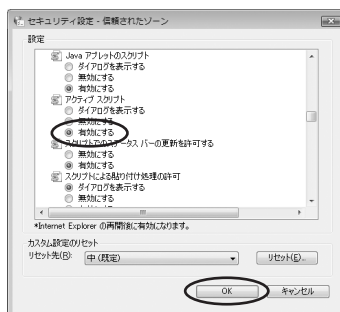


7

【レベルのカスタマイズ】をクリックする

8

画面をスクロールし、【アクティブスクリプト】を【有効にする】に変更し、【OK】をクリックする



9

【OK】をクリックする

5

付録

JavaScript®の設定をする (Mac OS)

Webブラウザで設定を行うにはJavaScript®の設定を有効にする必要があります。
 以下はMac OSをご利用の場合です。Windows®をご利用の場合は、5-14ページをご
 覧ください。

※ Web ブラウザの設定で、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScript®を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OSでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。

- 1 Netscape®を起動する
- 2 メニューバーの [Netscape]
- [環境設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] から [詳細] -
[スクリプトとプラグイン] をク
リックする
- 4 [JavaScriptを有効にする] の
[Navigator] にチェックを入
れる

- 5 [OK] をクリックする
- 6 メニューバーの [Netscape]
から [Netscapeを終了] をク
リックし、Netscape®を終了
させる



5-2 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→NG (a参照)
↓ OK	
本商品前面のADSLランプは緑点灯していますか？	→NG (b参照)
↓ OK	
本商品前面のLANランプは緑点灯していますか？	→NG (c参照)
↓ OK	
本商品前面の無線ランプは緑点灯していますか？ (※1)	→NG (d参照)
↓ OK	
パソコンのIPアドレスが設定されていますか？ (IPアドレスの確認方法は、5-2ページをご覧ください)	→NG (e参照)
↓ OK	
Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？	→NG (f参照)
↓ OK	
設定後、本商品前面のPPPランプが緑点灯していますか？ (※2)	→NG (g参照)
↓ OK	
インターネットに接続できましたか？	→NG (h参照)
↓ OK	
本商品前面のVoIPランプが緑点灯していますか？	→NG (i参照)
↓ OK	
IP電話が使えますか？	→NG (j参照)
↓ OK	
本商品前面の電話ランプが緑点灯していますか？	→NG (k参照)
↓ OK	
加入電話が使えますか？	→NG (l参照)

(※1) 無線LAN機能を使用しない場合は、本商品の無線ランプは緑点灯しません。

(※2) ブリッジモードでご使用の場合 (PPPoE ブリッジ機能で接続する場合) は、本商品のPPPランプは緑点灯しません。

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます） ●電源アダプタのコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のADSLランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ADSLランプが遅い緑点滅のままで変化しない	●接続しているポート（本商品のADSL 回線ポート）は正しいかを確認してください。 ●付属の電話機コードをしっかりと接続してください。本商品、ADSL スプリッタおよびADSL回線のモジュージャックに正しく差し込まれているかを確認してください。 ●ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中には、5～30分ほどかかる場合があります。詳細は付属の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）の「Web設定」の「基本設定」－「ADSLモデム設定」をご覧ください。 ●ADSL サービスが開始されていることを確認してください。または、ADSLサービスをご契約された電話回線に接続されていることを確認してください。
ADSLランプが速い緑点滅のあと、緑点灯せずに遅い緑点滅に戻る	●ADSL はノイズにより左右されますので、下記にて確認してください。 ・電源アダプタ（電源プラグ）を延長ケーブルではなく、壁などの電源コンセントに接続して確認してください。 ・電源アダプタのコードと電話機コードが並行しないように設置して確認してください。 ・ADSL回線のモジュージャックからADSLスプリッタ間で分岐させていないか確認してください。 ●遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR等）の通信装置がADSL回線に接続されているかご確認ください。

c.本商品前面のLANランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
LAN ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属しているLANケーブルをお使いください。 ●再度本書の『1-5 設置・接続』(● 1-9ページ) をご覧のうえ、配線の確認をしてください。 また、パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。

d.本商品前面の無線ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
無線ランプが緑点灯しない	●本商品側面の拡張カードスロットに、Web Caster FT-STC-Na/gが正しく装着されているか『3-1 本商品への無線LANカードの取り付け』(● 3-2ページ) をご覧のうえ、確認してください。

e.パソコンのIPアドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 - パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、5-2ページ以降をご覧のうえ、再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 5-2ページ以降をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

f. Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症 状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「パソコンのネットワーク設定」(☛ 5-2ページ) をご覧のうえ、確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 ●複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web設定」ページは開きません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス（例えばhttp://200.200.200.1/）を入力してください。 ●ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●管理者パスワードが間違っていないかご確認ください。
Web ブラウザで、本商品の「Web設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で JavaScript[®] を有効に設定してください。(☛ 5-14ページ、5-16ページ) ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応OSの確認とWebブラウザの準備」(☛ 1-6ページ) をご覧のうえ、確認してください。

g. 本商品前面のPPPランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
PPPランプが消灯している	●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先の選択設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、接続したい接続先の情報（接続先ユーザー名、接続パスワード）が入力されているか確認してください。 ●本商品をADSLモデムとしてご利用の場合は、PPPランプは消灯したままです。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、「接続モード」を「要求時接続」に設定した場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPPランプは消灯したままです。
PPP ランプが速い緑点滅、または遅い緑点滅をしている	●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で接続したい接続先の情報（接続先ユーザー名、接続パスワード）が、プロバイダ情報にしたがって、正しく設定されているか確認してください。 ・通常、接続先ユーザー名は、「xxxxx@xxxxx.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力します。 ・通常、接続パスワードは、大文字／小文字が区別されます。 ・接続先ユーザー名、接続パスワードに全角文字は使用できません。

h. インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNSサーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNSサーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web設定」の「詳細設定」－「LAN側設定」でネームサーバ（DNSサーバ）アドレスの欄に入力してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に192.168.1.xxxのIPアドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品のLAN側IPアドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先の選択設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web設定」のトップページで、接続したい接続先の【接続状態】が「回線接続中」となっていることを確認してください。

i. 本商品前面のVoIPランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
VoIP ランプが消灯している	●IP電話の設定がされていません。 プロバイダとの契約内容にしたがって、IP電話の設定を行ってください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
VoIP ランプが赤点灯している	●IP電話利用不可の状態です。 IP電話の設定内容を確認してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
VoIP ランプが橙点灯している	●「Web 設定」の「情報」－「電話の状態と状態の変更」で「IP 電話利用停止」が設定されています。
電話機を利用している状態（通話状態）でVoIPランプが緑点滅している	●IP電話として通話中です。

j.IP電話が使えない

症 状	原因と対策
IP電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 IP電話では緊急通話（110番や119番等）等や加入電話サービスに依存した電話番号はかけられません。 ●「電話機能の設定について」（➡ 4-4ページ）で設定した内容がご自分のご利用環境と合っているか確認してください。なお、使用する電話機がホームテレホンの電話機やデジタル電話機等である場合、または電話機のACR機能等が動作している場合はIP電話が正しくご利用いただけません。

k.本商品前面の電話ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
電話ランプが消灯している	●本商品背面の電話回線ポート（グレー）に、本商品に付属の電話機コード（グレー）が正しく接続されていることを確認してください。
電話ランプが赤点滅している	●加入電話回線の極性が反転しています。 「Web設定」の「電話設定」－「電話詳細設定」で、回線極性を「自動」に設定するか、極性が「ノーマル」に設定されているなら「リバース」に、「リバース」に設定されているなら「ノーマル」に設定を変更してください。
電話機を利用している状態（通話状態）で電話ランプが緑点滅している	●加入電話として通話中です。

l.加入電話が使えない

症 状	原因と対策
加入電話が使えない	●加入電話の契約をしていないと、加入電話はご利用になれません。加入電話をご利用になる場合は、加入電話の契約が必要です。 ●正しく接続されていない可能性があります。 『1-5 設置・接続』（➡ 1-9ページ）をご覧ください。正しく接続してください。
ナンバー・ディスプレイ、Lモード、ダイヤルインなどの加入電話付加サービスが正常に動作しない	●加入電話付加サービスの契約内容をご確認ください。 ●加入電話回線の極性が反転しています。 「Web設定」の「電話設定」－「電話詳細設定」で、回線極性を「自動」に設定するか、極性が「ノーマル」に設定されているなら「リバース」に、「リバース」に設定されているなら「ノーマル」に設定を変更してください。 ●ダイヤル種別が「DP」に設定されていて、加入電話としてLモードをご利用になる場合、発信経路設定を「自動」に設定しておく、接続までの時間が長くなり、つながらない可能性があります。その場合は発信経路設定を「加入電話」に設定することをお勧めいたします。

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
ADSL接続が時々切れる	●冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上や横に置かれている場合は、その機器から離してください。
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.1.xxxは、ハードウェアのアドレスが...と競合しています。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN内に手動で設定しているIPアドレスがあるかどうか確認してください。 ●[OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう1台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 ＜Windows Vista™およびWindows® XPの場合＞ ①[スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ②ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Windows® 2000の場合＞ ①[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ②ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Windows® Me/98の場合＞ ①[スタート] - [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックします。 ②[winipcfg] を入力して [OK] をクリックします。 ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④[解放 (S)] をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になることを確認します。「IPアドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤[書き換え (N)] をクリックして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Mac OS Xの場合＞ ①[アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ②[TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、[今すぐ適用] をクリックします。 ④[表示] を [内蔵Ethernet] にして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。

症 状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、5-2ページ以降をご覧ください、再度パソコンのIPアドレスを確認する。 b.次の手順でIPアドレスを取り直してください。 ＜Windows Vista™およびWindows® XPの場合＞ ①[スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Windows® 2000の場合＞ ①[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Windows® Me/98の場合＞ ①[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。 ②「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。 ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④[解放] をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になっていることを確認します。[IPアドレスはすでに解放しています] と表示されたときは [OK] をクリックして、⑤へ進んでください。 ⑤[書き換え] をクリックして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 ＜Mac OS Xの場合＞ ①[アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ②[TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、[今すぐ適用] をクリックします。 ④[表示] を [内蔵Ethernet] にして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。
「ファームウェア更新情報」に「更新の確認に失敗しました。」と表示される	●PPPランプが消灯していませんか → PPPoE接続が切断されています。接続後、「Web設定」の [メンテナンス] - [ファームウェア更新] の [更新確認] をクリックしてください。 ●アップデートURLが間違っていないですか → 本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」(HTMLファイル) の「Web設定」の [メンテナンス] - [ファームウェア更新] にしたがって再度設定してください。
ハンドセットをあげると「ピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています。ファームウェアの更新を行ってください。(正常動作)

症 状	原因と対策
「ファームウェア更新情報」に「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示される	●PPPランプが消灯していませんか →PPPoE接続が切断されています。接続後、「Web設定」の[メンテナンス]－[ファームウェア更新]の[更新確認]をクリックし、更新された「ファームウェア更新情報」の表示内容にしたがって作業を行ってください。
「ファームウェア更新情報」に「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示される	●PPPランプが消灯していませんか →PPPoE接続が切断されています。接続後、「Web設定」の[メンテナンス]－[ファームウェア更新]の[更新確認]をクリックし、更新された「ファームウェア更新情報」の表示内容にしたがって作業を行ってください。

5-3 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は本商品に付属の「Web Caster 3100NV 専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)の「Web設定」をご覧ください。

本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または管理者パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

IP電話に関する設定もすべて消去されてしまいますので、設定をやり直してください。

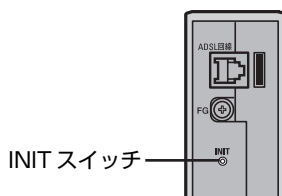
■設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

- 1 いったん本商品の電源アダプタを抜く
- 2 10秒以上たってから、電源アダプタを差し込む
- 3 本商品前面のPPPランプが緑点灯している間に本商品背面のINITスイッチを押す（本商品前面の電源ランプ以外の全ランプが緑点滅を開始するまで押し続ける）

本商品の電源ランプ以外の全ランプが緑点滅したあと、全ランプが緑点灯して工場出荷状態に初期化されます。

ADSLランプが緑点滅を開始したら、初期化は完了です。



※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。



お知らせ

- 本商品が工場出荷状態（初期化された状態）の場合、電源を入れるとセルフテスト実行によりPPPランプが数秒間緑点灯後、本商品の全ランプが約5秒間緑点灯します。
- 本商品に設定する接続先ユーザー名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合等、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

5-4 本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。
バージョンアップ方法には以下の2通りの方法があります。

- バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛下記）
- 当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛ 5-34ページ）

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

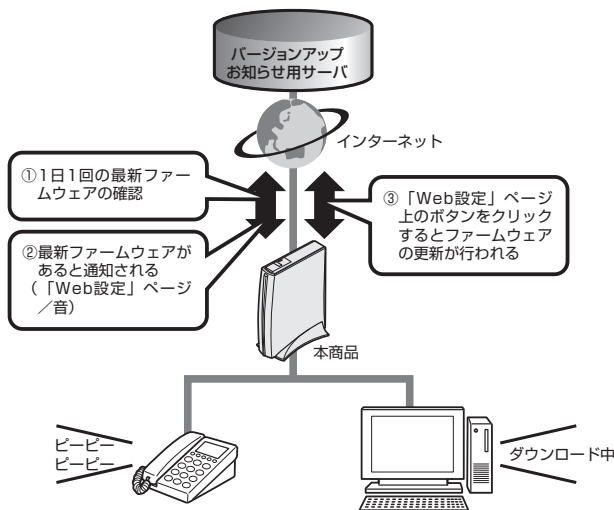
1. バージョンアップお知らせ機能の機能概要
2. バージョンアップお知らせ機能を利用するための設定をする
3. バージョンアップ確認方法
4. バージョンアップ方法

■バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、本商品が定期的に（1日1回）、インターネット上の当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。

最新ファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

- 本商品に接続されたハンドセットをオフフックした際の音で確認する
（「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます）
- 本商品の「Web設定」（「トップページ」および「メンテナンス」－「ファームウェア更新」）にて確認する
（最新ファームウェアがある場合は「新しい更新があります」と表示されます）



■バージョンアップお知らせ機能を利用するための設定をする

- 1 「Web設定」 ページ (<http://ntt.setup/>) を開く
- 2 「メンテナンス」 の  をクリックし、[ファームウェア更新] をクリックする
- 3 [アップデートURL] にプロバイダから指定されたURLを入力する
ただし、指定されない場合は「<http://www.cpeinfo.jp/>」を入力してください。



- 4 [設定] ボタンをクリックし、[登録] ボタンをクリックする
設定内容が保存され、本商品が再起動します。
再起動が完了すれば、バージョンアップお知らせ機能が動作を開始します。



お願い

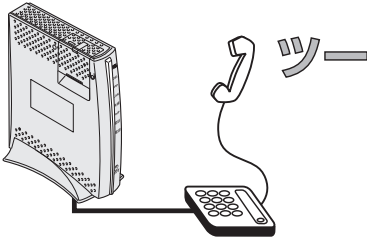
- バージョンアップお知らせ機能を使用する場合には、接続先の接続モードを「常時接続」に設定してください。
詳しくは、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

■バージョンアップ確認方法

●最新ファームウェアがないとき

電話機のハンドセットを取りあげると「ツー」という音が聞こえます。(通常と変わりはありません)

※IP電話/加入電話発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。



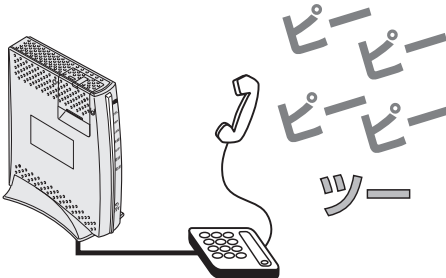
●最新ファームウェアがあるとき 〈電話機からの音で確認する場合〉

電話機のハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。

※IP電話/加入電話発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。

※ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

「Web設定」の「メンテナンス」-「ファームウェア更新」の「更新お知らせ音」が「通知する」に設定されていない場合は、「ピーピーピーピー」という音はしません。



ファームウェアを更新する場合は「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開き、「バージョンアップ方法」-「Web設定」のトップページで更新する場合 (● 5-32ページ) へお進みください。

〈「Web設定」のトップページで確認する場合〉

1 「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

2 トップページに「新しい更新があります。バージョンアップする場合は「更新」をクリックしてください。」と表示される



※ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。



ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」→〈「Web設定」のトップページで更新する場合〉(☛ 5-32ページ)へお進みください。

〈「Web設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で確認する場合〉

1 「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

2 「メンテナンス」の ▾ をクリックし、「ファームウェア更新」をクリックする

3 「ファームウェア更新情報」に「更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は「ファームウェア更新」をクリックしてください。」と表示されることを確認する



※最新の状態を確認するには、「更新確認」をクリックしてください。

➡ ファームウェアを更新する場合は「バージョンアップ方法」－〈「Web設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で更新する場合〉 (☞ 5-33ページ) へお進みください。



お知らせ

- バージョンアップお知らせ機能を使用する場合には、あらかじめ「アップデートURL」の項目にプロバイダから指定されたURLを設定しておく必要があります。ただし、指定されない場合は「<http://www.cpeinfo.jp/>」を入力してください。

■バージョンアップ方法

「バージョンアップ確認方法」(● 5-29ページ)で最新ファームウェアの提供が確認されたら、それぞれの手順にしたがって更新を行ってください。

◀「Web設定」のトップページで更新する場合▶

「Web設定」のトップページに更新ファームウェア情報が表示されています。

1

【更新】 ボタンをクリックする



ファームウェアのバージョンにより表示される内容は異なります。

ファームウェアのダウンロードが始まり、引き続きファームウェアの更新が始まります。



ファームウェア更新中は絶対に電源をOFFにしないでください。

2

【OK】 ボタンをクリックする

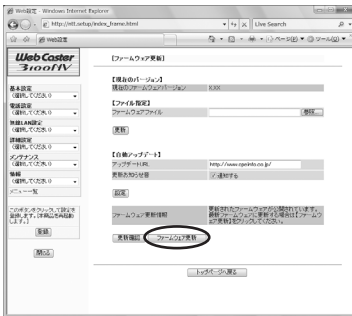
電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



「Web設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で更新する場合

「Web設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」に更新ファームウェアの情報が表示されています。

1 「ファームウェア更新」をクリックする



ファームウェアのダウンロードが始まり、引き続きファームウェアの更新が始まります。



ファームウェア更新中は絶対に電源をOFFにしないでください。

2 「OK」ボタンをクリックする 電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



※電話機から「* * * 11」とダイヤルすることでファームウェア更新を行うことができます。

詳しくは、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）の「機能詳細説明」の「ファームウェア更新」をご覧ください。



お願い

- バージョンアップを行うと通信は切断します。
バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信やIP電話の通話は終了させてください。
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書等の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書等もバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。最新の取扱説明書等が必要なときは、当社ホームページよりダウンロードしてください。

当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

■「Web設定」の【メンテナンス】－【ファームウェア更新】からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

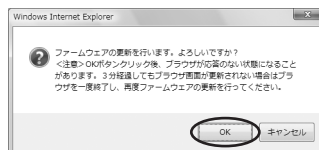
2 「Web設定」ページ (<http://ntt.setup/>) を開く

3 【メンテナンス】の ▾ をクリックし、【ファームウェア更新】をクリックする

4 【ファイル指定】の【参照】ボタンをクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

[現在のバージョン] には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 【更新】ボタンをクリックし、【OK】ボタンをクリックする



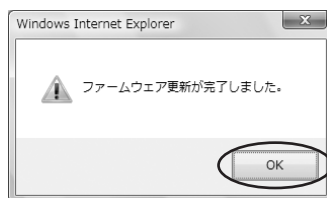
しばらくすると、Web 設定画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源をOFFにしないでください」と表示されます。



ファームウェア更新中は絶対に電源をOFFにしないでください。

6 【OK】ボタンをクリックする

電源ランプが緑点灯していることを確認してください。



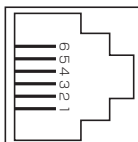
STOP お願い

- バージョンアップを行うと通信は切断します。
バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信やIP電話の通話は終了させてください。
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書等の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書等もバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。最新の取扱説明書等が必要なときは、こちらをあわせてダウンロードしてください。

5-5 インタフェース

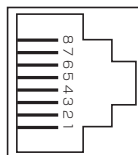
コネクタ形状

●ADSL回線ポート、電話回線ポート、電話機ポート



ピン番号	略称	入出力
1	—	未使用
2	—	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	—	未使用
6	—	未使用

●LANポート (100BASE-TX／10BASE-T)



ピン番号	略称	入出力
1	TD+	入力
2	TD-	入力
3	RD+	出力
4	—	未使用
5	—	未使用
6	RD-	出力
7	—	未使用
8	—	未使用

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Lineの略。

上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話回線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。

AES

Advanced Encryption Standardの略。

WPA-PSKで使用する暗号化方式の一つ。AESはTKIPやWEPと比べて、より解読されにくいものになっている。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。

TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が容易になる。

DNS

Domain Name Systemの略。

IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。

ESSID/SSID

Extended Service Set Identifier/Service Set Identifierの略。

無線通信する端末を論理的にグループ分けするための無線ネットワーク名。単一の無線ネットワークに属する端末にはすべて同じESSID/SSID（無線ネットワーク名）を設定して使用する。ESSID/SSID（無線ネットワーク名）は半角英数記号32文字以内で入力できる。

IPアドレス

インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。（例：192.168.1.10）

IPマスカレード

NAT（IPアドレス変換）機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側アドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。

LAN

Local Area Networkの略。

1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。

MACアドレス

ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。

PPP

Point to Point Protocolの略。

遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoE

Point to Point Protocol over Ethernetの略。

ADSLなどの常時接続型サービスで使用するユーザー認証技術。Ethernet上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者の接続先ユーザー名や接続パスワードのチェックを行う。

Super AG

米アセロス・コミュニケーションズ社の無線LAN高速化技術で、データの packets をバースト転送し、転送最適化、データの圧縮を行うことによって、無線実効スループットを高速化する技術。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。

TKIP

Temporal Key Integrity Protocolの略。

WPA-PSKで使用する暗号化方式の一つ。TKIPはWEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用している。

VoIP

Voice over Internet Protocolの略。

インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略。

WEPを使用すると、無線通信中のデータを暗号化しデータの盗聴を防ぐことができる。WEPを使用していない場合は、データは暗号化されずに発信されるため、第三者が容易にその内容を知る恐れがある。WEPではWEPキーに登録した内容と、WEPキーの番号が同じ端末間でデータを暗号化して通信を行うため、正しいWEPキーを知らないユーザーは、データを盗聴してもその意味を知ることはできない。WEPには、64bit、128bit、152bitと、WEPキーのbit数により3種類のものであり、WEPキーのbit数が多いほど解読されにくいいため安全性が高くなっている。セキュリティ上の理由からWEPを設定して使用することを推奨する。

WPA-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Keyの略。 WPAセキュリティ設定の認証方式の一つ。Pre-Shared Keyを使って認証を行うので、認証サーバを用意しなくてもWPAセキュリティ設定を使用できる。WPA-PSKにはAESやTKIPなどの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、10Mbit/sの伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、100Mbit/sの伝送速度をもつ。
【あいいうえお順】	
【か行】	
クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
【さ行】	
サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
使用チャンネル	無線LANで使用されるIEEE802.11a/b/gで規定された電波の周波数帯域。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合、無線干渉により通信速度が遅くなることがあるので、その場合は異なるチャンネルを割り当てる。
静的IPマスカレード	IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
【は行】	
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
【ま行】	
無線LANアクセスポイント (Access Point)	無線LANアクセスポイントは、有線LANとインフラストラクチャモードに設定した無線LANカードとの通信の中継や、無線LANカード同士の通信の管理を行う。無線LAN端末側に無線LANカードを設置する必要がある。
無線LANカード	インフラストラクチャモードに設定して無線LANアクセスポイントと対にして使用したり、アドホックモードに設定して無線LANカードだけで無線LANを構築したりできる。主にインフラストラクチャモードで使われることが多く、アドホックモードは小規模なネットワークで使われる。

【5行】

ルータ

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。



の付いている用語は本商品に付属の「Web Caster 3100NV専用CD-ROM」に収録されている「機能詳細ガイド」に記載されています。

[A ～ Z]

ADSL回線に接続する	1-10、1-13
ADSL回線ポート	1-5、1-10、1-13、5-36
ADSLスプリッタ	1-10
ADSLランプ	1-3、4-9
INITスイッチ	1-5
IPアドレス	2-2、
IPアドレスの確認	
Windows Vista™の場合	5-4
Windows® XPの場合	5-6
Windows® 2000の場合	5-8
Windows® Me/98の場合	5-10
Mac OS Xの場合	5-11
Mac OS 9.x/8.xの場合	5-12
IP電話	
使いかた	4-9
IPマスカレード	5-37、
JavaScript®の設定をする	
(Windows®共通)	5-14
JavaScript®の設定をする	
(Mac OS)	5-16
LANケーブル	1-2
LANポート	1-5、5-36
LANランプ	1-3
PPPランプ	1-3、4-9
UPnP	
VoIPランプ	1-3、4-9
VPNパススルー	
Web Caster 3100NV専用CD-ROM ..	24
Web設定	2-2、3-4、3-16、
Webブラウザ	1-6
Webブラウザの設定をする	
(Windows®共通)	5-13

[A行]

アース端子	1-5
インタフェース	5-36

お客様サポート・保守サービス	5-46
----------------------	------

[カ行]

機能詳細ガイド	21
クライアント	5-39、
故障かな?と思ったら	5-17
固定IPアドレス	
コンピュータ名/ワークグループ名	

[サ行]

サーバ	5-39、
仕様一覧	5-43
初期化	5-26
スタンド	1-2、1-9
静的IPマスカレード	5-39、
静的NAT	
接続	
ADSL回線に～する	1-10、1-13
LANに～するための準備	
インターネットに～する	2-4
接続先ユーザー名	2-2、
接続パスワード	2-2、
設置する	1-9
設定する	

パソコンのネットワーク	5-2
Windows Vista™	5-3
Windows® XP	5-5
Windows® 2000	5-7
Windows® Me/98	5-9
Mac OS X	5-11
Mac OS 9.x/8.x	5-12

[タ行]

電源アダプタコード端子	1-5
電源ランプ	1-3、4-9
電話回線ポート	1-5、5-36
電話機ポート	1-5、5-36
電話ランプ	1-3、1-12

【ナ行】

ネットワークコンポーネント	
ネットワーク対応アプリケーション	

【ハ行】

バージョンアップ	5-27
パケットフィルタリング	

【マ行】

マルチセッション	
無線LAN	3-2、3-17、3-21
無線LANカード	3-2、3-6

【ヤ行】

用語集	5-37
-----------	------

5-8 仕様一覧

■Web Caster 3100NV

■ハードウェア仕様

項 目		仕 様
ADSL回線ポート	物理インタフェース	6ピンモジュージャック (RJ-11)
	ポート数	1ポート
	規格	Quad Spectrum方式 ITU-T G.992.1 Annex C / Annex I ITU-T G.992.2 Annex C (※1)
LANポート	物理インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45)
	ポート数	4ポート (スイッチングハブ内蔵)
	規格	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / IEEE802.3) オートネゴシエーション
	MDI / MDI-X	MDI-X固定
無線LANポート	物理インタフェース	PC Card Standard (Card Bus) スロット ※オプションの無線カードWeb Caster FT-STC-Na/g専用
	スロット数	1スロット
電話回線ポート	物理インタフェース	6ピンモジュージャック (RJ-11)
	ポート数	1ポート
	ダイヤル種別	DP / PB自動認識
電話機ポート	物理インタフェース	6ピンモジュージャック (RJ-11)
	ポート数	1ポート
	供給電圧	約 - 48V (無負荷時)
ランプ表示	ADSL	ADSLリンク確立時緑点灯 (※2)
	PPP	セルフテスト時緑点灯 (テスト完了時消灯)、 PPPセッション確立時緑点灯 (※2)
	LAN	LANリンク確立時緑点灯 (背面にポートごとのランプ表示有り)
	無線	無線LAN利用可能時緑点灯
	VoIP	IP電話利用可能時緑点灯
	電話	加入電話利用可能時緑点灯
	電源	電源通電時緑点灯
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
筐体外観		縦置き型
動作環境		温度 : 5~40℃ 湿度 : 5~85% (結露しないこと)
外形寸法		約42 (W) × 177 (D) × 219 (H) mm (突起部分を除く)
電源		AC100±10V 50/60Hz
消費電力		最大14W
質量		約1.1kg (電源アダプタ含む)
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

(※1) 上り拡張方式、オーバーラップ方式にも対応します。

(※2) ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中には、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅します。

■ソフトウェア仕様

項 目		仕 様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)
	PPP認証	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP固定 / PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断)
	接続先数	登録：5箇所、同時接続：3箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (最大40経路)、 ダイナミックルーティング (RIP/RIP2)：LAN側のみ
	DHCPサーバ機能	有り (最大255アドレス割当)
	Proxy DNS機能	有り (LAN側DNSサーバ指定可)
	NAT機能	IPマスカレード：最大2048セッション、 静的NAT：最大20アドレス
	静的IPマスカレード機能	有り (ポート番号の範囲指定可)
	ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 機能	有り
	DMZホスト機能	有り (LAN側IPアドレス指定による)
	複数固定IPサービス対応機能	有り
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、 プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能 (LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃)、不正アクセス検出機能 (LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃)
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット
VoIP機能	接続手順	SIP
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ -law
	エコーキャンセラ	ITU-T G.165
設定・保守機能	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	ADSL回線状態、ADSL側IPアドレス、バージョン情報他
	時計機能	有り (NTPサーバによる自動時刻設定可)
	ログ機能	有り
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用

■ADSLスプリッタ（スプリッタセットの場合に付属）

■仕様			
項 目			仕 様
インタフェース	回線 インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
	ADSL モデム用 インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
	電話機用 インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
適用回線			フレッツ・ADSL、ADSL接続サービス
外形寸法			約43（W）×58（D）×24（H）mm （突起部分を除く）
質量			約50g
動作環境			温度：5～40℃ 湿度：5～85%（結露しないこと）

お客様サポート・保守サービスのご案内

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-710444**（9:00～21:00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
03-5667-7200（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンとの接続、パソコンの設定などに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-275466**（24時間 年中無休）

※携帯電話からは下記までお問い合わせください。

0570-005202

（24時間 年中無休 PHS・050IP電話・ひかり電話からは
ご利用いただけません。また通話料がかかります。）

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-242751**（24時間 年中無休※）

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-109217**（9:00～21:00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-248995**※¹（24時間 年中無休※²）

※¹ 携帯電話・PHSからも利用可能です。

※² 故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

●廃棄方法に関して

本商品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

MEMO

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

©2007 NTTEAST・NTTWEST



本2610-3 (2007.5)
Web Caster 3100NVトリセツ